

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の報告書

(対象：平成28年度実施事務及び事業等)

平成29年9月

九戸村教育委員会

目次

I 【概要】

1. 教育委員会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
九戸村教育委員会
2. 本報告書について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について・・・・・・・・ 2
意見をいただいた学識経験者
4. 九戸村教育基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
5. 平成28年度九戸村教育委員会重点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 【教育委員会の活動状況等】

1. 教育委員会の会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. 会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

III 【参考資料】

1. 平成28年度 教育費内訳（決算額）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

IV 【重点的な事務及び事業等の点検及び評価シート】

(1) 学校教育行政上の主要施策

- ① 推進体制の充実 校長会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ② 推進体制の充実 教員研修の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ③ 学校教育の充実 学習指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ④ 学校教育の充実 生徒指導の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- ⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- ⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

⑫ 就学奨励費	33
⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実	35

(2) 社会教育行政の主要施策

① 生涯にわたる社会教育活動の充実	指導体制の確立	37
② 生涯にわたる社会教育活動の充実	指導体制の確立 教育振興運動	39
③ 生涯にわたる社会教育活動の充実	家庭教育の充実 家庭教育学級	40
④ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 放課後子ども教室	41
⑤ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 九戸村学校支援地域本部事業	42
⑥ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 九戸村地域子ども読書会	43
⑦ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 戸のまち交流事業	44
⑧ 各期における社会教育活動の充実	青少年の健全育成 九曜塾	45
⑨ 各期における社会教育活動の充実	女性教育 女性教室	47
⑩ 各期における社会教育活動の充実	女性教育 婦人団体	49
⑪ 各期における社会教育活動の充実	高齢者教育 生涯学習アカデミー	50
⑫ 国際交流推進に向けた取り組みの充実	青少年海外派遣事業	52

(3) 文化行政の主要施策

① 文化の振興 鑑賞機会の提供	53
② 文化の振興 発表機会の拡充	54
③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動	56

(4) 公民館運営の主要施策

① 生涯学習の推進 公民館の利用促進	57
② コミュニティー活動の推進 地域公民館活動の支援	58
③ 読書活動の推進	60
④ 結婚相談所の充実	62

(5) 生涯スポーツ行政の主要施策

- ① 推進体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
- ② 実践活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
- ③ 施設の整備・活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
- ④ 希望郷いわて国体の推進・・・・・・・・・・・・・・・・70

I 【概 要】

1. 教育委員会について

教育委員会は、首長から独立した立場ですべての都道府県及び市町村等に設置され

- ① 学校やその他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分の取扱いに関する事務を行う。
- ② 社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

とされており、委員の合議によって事務局を指揮監督し職務を遂行する行政機関です。

委員は、人格高潔で、教育も学術及び文化に関し識見を有するものうちから、村長が、村議会の同意を得て任命します。その任期は、4年で再任が認められます。

教育長は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」に伴い、平成28年7月9日から新教育長制度による仕組みとなっており、平成28年7月11日九戸村教育委員会臨時会議において、以下の構成となっております。

.....

九戸村教育委員会委員

(平成29年9月1日)

教育長 漆 原 一 三

教育長職務代理者 千 葉 和 彦

委 員 伊保内 啓 子

委 員 河 村 敏 弘

委 員 岩 崎 悦 和

2. 本報告書について

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定めるところにより、九戸村教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、本報告書に取りまとめて作成し、これを九戸村議会に提出するとともに、公表するものです。

3. 対象とする事務及び事業等と点検・評価の方法について

対象とする事務及び事業等については、平成28年度に実施した事務及び事業等のうち、点検・評価を行うにあたり九戸村教育委員会重点施策等から特に重要と思われるものについて選定し、その概要と実施状況等について取りまとめたうえで、まず、事務局担当者による点検・評価を行い、次に、教育に造詣の深い学識経験者3名からご意見をいただき、「重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート」に取りまとめました。

.....

意見をいただいた学識経験者

宮 川 義 隆 氏 (九戸村 伊保内)

村 田 勝 義 氏 (九戸村 戸 田)

細 川 育 子 氏 (九戸村 江刺家)

平成28年度 教育行政方針及び施策

《九戸村教育目標》

- 1 自ら考え 学び続ける人
- 1 他を尊重し 思いやりのある人
- 1 心身ともに健康で たくましい人
- 1 奉仕の心をもち 自ら働く人
- 1 自然と文化を愛する 心豊かな人

I 教育行政基本方針 「愛・相・間－言葉」の教育

グローバル化による激しい社会の変化の中で、村の未来を切り拓き、たくましく生き抜いていく人材を育成するために、これまで以上に学校・家庭・地域・教育関係者が連携し、以下四点の方針の下、村の教育目標具現化に向け教育行政を積極的に推進していきます。

- 1 生涯学習体制の構築を図り、村民すべての世代の必要性に応じた学習機会を保障します。
- 2 学校教育の充実を図り、学びの環境を整え、安心・安全な学校で、すべての子ども達の学びを保障します。
- 3 文化・芸術活動のより一層の推進により、九戸の先人の知恵、技、生き方を継承します。
- 4 村民1人一つのスポーツを目標に、「希望郷いわて国体開催」を契機に、スポーツの生活化を図ります。

II 生涯学習環境整備の主要施策

学校・家庭・地域・関係機関等との連携を深めながら、生涯学習を推進する体制を充実させるとともに多様な学習機会の提供や広報活動を通じて、生涯学習に対する村民の理解と意欲の高揚に努めます。

《重点事項》

- ◆指導体制の確立 ◆生涯学習の奨励 ◆地域コミュニティの活性化

1 推進体制の確立

生涯学習推進本部を中心に学校、家庭、地域等の連携を深めるとともに、村長部局とも協力しながら指導者の養成に努め、学びたい人が、いつでも、どこでも、いつまでも、学ぶことのできる環境づくりに取り組みます。

2 生涯学習の普及奨励

「生涯学習だより」の発行（「広報くのへ」に掲載）や学習資料の提供とともに、県や近隣市町村、村内外の社会教育団体等の学習情報を盛り込んだ「生涯学習・保健ガイド」の発行などにより、村民の自発的な学習意欲を喚起します。

3 地域コミュニティの活性化

読書活動などの学びを機軸としたコミュニティの形成や「希望郷いわて国体」の開催に向けたスポーツの推進等を媒体とした取り組みにより、すべての村民が、幼児から高齢者まで生涯にわたって自らを高め、豊かな人生を送られるようにするための、小さな村だからこそできる生涯学習のネットワークを構築し地域コミュニティを活性化させます。

Ⅲ 学校教育行政の主要施策

教育行政に対する村民の期待と信頼に応えるため、各学校において学校評議員制度及び学校評価制度を効果的に運用することにより保護者や地域の人々の学校教育に対する意見や要望を的確に把握したり、地域の人々に学校教育への協力を求めたりしながら家庭や地域社会との連携に努め、地域に開かれた学校づくり及び安全な学校づくりを推進します。

《 重点事項 》

- | | | |
|---------------|--------------------|----------------|
| ◆推進体制の充実 | ◆目標達成型の学校経営 | ◆より望ましい教育環境の充実 |
| ◆小中高連携学力向上 | ◆生徒指導の充実 | ◆時代に対応した教育の充実 |
| ◆特別支援教育の充実 | ◆キャリア教育の充実 | ◆連携教育の充実 |
| ◆学校保健・安全教育の充実 | ◆就学奨励・伊保内高校学校への支援等 | |

1 推進体制の充実

(1) 推進体制

月例校長会議を開催し、村内全小中学校が一体となった教育の推進を図ります。

(2) 事務の共同実施

小中学校事務の共同実施を推進し、適切かつ効率的な学校事務執行体制を確立します。

2 目標達成型の学校経営

(1) 開かれた学校

学校評価制度の効果的な運用を図り、学校、家庭、地域が子どもたちの育ちを共有します。

(2) 学校内における人材育成

学校におけるOJTによる人材育成を意図的・計画的に推進します。

(3) いわての復興教育

学校経営の重点に「いわての復興教育」の視点を位置付け、防災教育の充実を図ります。

3 より望ましい教育環境の充実

(1) ナインズプラン学習

ナインズプラン学習（音楽、体育、外国語活動）を充実させ、同一学年間の活動により、学習効果を高めます。

(2) 望ましい教育環境づくり

少人数の特性を生かした効果的な指導の在り方や教育制度の改革に伴う望ましい教育環境の在り方について検討委員会（仮称）を設置し、今後の方向性を協議・検討します。

4 小中高連携学力向上の推進

(1) 小中高連携推進事業

九戸村学力向上推進協議会を軸に、小中高等学校、家庭、地域が一体となって「当たり前
の学習環境と生活環境づくり」を進め、学力向上に取り組みます。

(2) 九戸村授業改善プラン

課題とまとめのある授業づくり、学習を支える視写・聴写、授業と連動する家庭学習、生涯学び続ける学習習慣の育成に、より一層、関係機関、家庭、地域と連携し取り組みます。

(3) 教員研修の充実

先進校視察や先駆的研究者を招いての師範授業研究会を開催し、探求的な授業づくりを進めます。

5 生徒指導の充実

(1) いじめ防止対策

九戸村いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの早期発見・対応と未然防止に努め、深刻な事態を招くいじめ防止の撲滅に努めます。

(2) 不適応対策

不登校等、不適応対策のため、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを派遣するとともに、九戸中学校に適応指導相談員を配置します。

6 時代に対応した教育の充実

(1) ICT教育推進のため先進校視察を実施し、設置済みのIT機器が十分機能するよう、機器の更新等を検討します。

(2) 英語指導助手(ALT)及び外国語活動補助員の活用により、外国語活動及び英語教育の充実を図ります。

(3) 情報化社会に対応した、情報モラル教育を推進します。

7 特別支援教育の充実

(1) 就学支援の充実

「九戸村サポートファイル」を整備し、各関係機関と連携し支援体制を整えます。

(2) 通常学級及び特別支援学級における特別な支援を必要とする児童生徒の理解促進と特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの支援内容を充実させるために、特別支援員を拡大・配置します。

8 キャリア教育の充実

- (1) 児童・生徒の将来に向けて、夢と志を育むキャリア教育を充実します。
- (2) キャリア教育推進協議会の支援による、職場体験学習や自然・社会体験学習を充実します。

9 連携教育の充実

- (1) 村立幼稚園ひめぼたるこども園3歳児保育体制による、幼稚園教育の充実を図ります。
- (2) 幼保小関連研修会を実施し、アプローチ・スタートカリキュラムを充実します。
- (3) 小中高連携事業を推進し、段差のない円滑な指導、欠落のない定着する指導、落差のない確実な指導を進めます。

10 学校保健・安全教育の充実

- (1) 学校給食の充実
正しい食事習慣の確立と発達段階に応じた栄養の摂取など、食育指導を充実します。
- (2) 健康教育の充実
各種健診や健康相談等、「こころの健康カード」を活用し、児童生徒の心身の健康保持及び増進を図ります。
- (3) 安全教育の充実
安全マップの活用やスクールガードなど地域との連携により、学校安全、生活安全、交通安全、災害安全の徹底に努めます。

11 就学奨励・伊保内高等学校への支援等

- (1) 就学の奨励
心身や経済的な理由により就学が困難な村内児童生徒に対し、小中学校での就学に必要な支援を行います。
- (2) 高校教育の振興
 - ① 伊保内高等学校の魅力ある学校づくりや地元高等学校で学べる環境整備を支援します。
 - ② 学費補助や研修補助等、村営体育施設の無償開放を継続します。
- (3) 育英奨学資金
経済的理由により就学の困難な生徒に育英資金を貸与し、高校教育を支援します。

IV 社会教育行政方針と主要施策

生涯学習の一層の振興を図るため、学校や各種社会教育団体との連携を深めながら生涯にわたる学習活動や自らの意志に基づく社会教育活動を奨励します。また、人間形成の基礎を培う家庭教育の充実や復興・防災に関する学習をはじめ、自らを高め、豊かな人生が送られるよう多様な学習機会と各種の学習情報を提供しながら、自主的な学習活動を推進していきます。

《 重点事項 》

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ◆推進体制の充実 | ◆地域総ぐるみで子ども達を育てる教育環境の充実 |
| ◆家族ふれあいの日の定着 | ◆各時期における学びの機会の保障 |
| ◆教育振興運動の推進 | ◆国際交流の推進 |
| ◆男女共同参画社会の推進 | |

1 推進体制の充実

(1) 推進体制の確立

- ① 社会教育委員会議や生涯学習推進協議会をはじめ学校、家庭、社会教育団体及び地域の連携を深めながら社会教育推進体制の充実を図ります。
- ② 多様な学習情報を提供し、生涯にわたる自主的な学習活動や自らの意志に基づく社会教育活動を奨励するとともに、指導者の養成を進めます。

2 地域総ぐるみで子ども達を育てる教育環境の充実

(1) 家庭教育等の充実

- ① 村内すべての小・中学校及び幼保施設に家庭教育学級を開設し、家庭の教育力を高め、心豊かで心身ともにたくましい子どもを育てます。
- ② 子どもの発達段階に応じた学習資料を提供し、家庭、学校及び地域の連携を深め、地域総ぐるみで子どもを育てる環境づくりを推進します。
- ③ 村内各地域における自治会組織と子ども会育成会との連携を促進し、地域社会の教育力を高めます。

(2) 九曜塾の開設

- ① 「九曜塾」を開設し、村内の周辺地域の自然や文化、歴史、人に触れる体験活動を実施し、仲間づくりを行いながら郷土への誇りと愛着を持つ次代を担うたくましい九戸っ子を育てます。
- ② 学校教育と連携し、復興教育の観点を取り入れるなど土曜学習や長期休業中の豊かな体験活動の場とします。

(3) 放課後子ども教室の開設

放課後子ども教室を開設し、放課後児童クラブとの連携を図りながら、放課後における子どもの安心・安全な居場所づくりに努めるとともに豊かな体験活動の場を提供します。

(4) 学校支援地域本部事業

学校側の要望を受け、それに応えて協力してくれる地域のボランティアを確保することにより学校支援を行い学校教育の充実、生涯学習社会の実現、地域の教育力の向上を図る。

3 家族ふれあいの日の定着

- (1) 毎月第3日曜日を九戸村「家族ふれあいの日」と定め、岩手県が主唱する“いわて家庭の日”と併せて親子間をはじめとする家族のふれあいを深める日とします。

- (2) 「家族ふれあいの日」は、各種団体や企業等の協力を得ながら、できるだけ事業や行事を行わない日として位置付け、社会教育施設等をふれあいの場として無料開放しながら家族のふれあいを奨励していきます。

4 各時期における学びの機会の保障

- (1) 幼児教育
- ① 村長部局、幼稚園、保育園等との連携を深めながら家庭の教育力の向上に努めます。
 - ② 幼児を持つ親の学級の開設等により、多様な学習機会や学習教材の提供を通じて親子のふれあいの充実を図ります。
- (2) 青少年教育
- ① 学校教育と連携を図り復興教育の観点を取り入れた事業の推進を図ります。
 - ② 青年を対象とした講座等を開設し、青年の活動を助長するとともに、各種研修会や行事等への派遣によりリーダーの養成や組織の育成に努めます。
- (3) 成人教育
- ① 村民の学習要求を的確に把握し、公民館学級を中心とした多様な学習機会を提供し、学習サークルの設立や活動を支援します。
 - ② 教育振興運動やPTAの自主的な活動を奨励するとともに、会員を各種研修会へ派遣してリーダーの養成を図ります。
- (4) 女性教育
- ① 「女性教室」を開設し、学習内容を充実させ、資質の向上と社会参加に向けた意識の醸成を進めます。
 - ② 女性団体の自主的な活動を奨励し、各種研修会へ派遣することにより、リーダーの養成と組織の活性化を図ります。
- (5) 高齢者教育
- ① 「生涯学習アカデミー」を開設し、仲間づくりと生きがいのある生活を送るための学習環境を整えます。
 - ② 自主的な活動を支援するとともに、これまで積み重ねてきた知識と経験を生かし、指導者としての活動の場を設けるなど、高齢者の社会参加を促します。
- (6) 消費者教育の推進
- ① 「生涯学習アカデミー」や「女性教室」「公民館学級」「成人式」などさまざまな場を利用し、ライフステージに応じた消費者教育を進めます。
 - ② 関係機関、民間団体等の協働及び他の教育課題とも関連させながら情報の提供を行い、自ら考え行動できる消費者の育成を図ります。

5 教育振興運動の推進

- (1) 「みんなで教振！ 5か年プラン」に基づき、「全県共通課題（情報メディアとの上手な付き合い方）」と「地域の教育課題（読書・家庭学習）」の解決に向けて、運動の一層の活性化を図ります。
- (2) 各実践区において、5者がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図ります。

6 国際交流の推進

- (1) 九戸村人材育成事業補助金の活用による中高生の海外派遣事業を行い、国際感覚をもった将来を担う人材の育成を図ります。
- (2) 九戸村国際交流会と連携し、「英会話教室」の開催や国際交流事業を実施し、国際協力思想の高揚と多文化共生社会の実現に努めます。

7 男女共同参画社会の推進

- (1) 九戸村男女共同参画プランに基づいた意識づくりや環境づくりを進め、男女がお互いに人権を尊重し、性別にとらわれずに個性と能力を最大限に発揮できる社会の実現を目指します。
- (2) 研修機会の提供や指導者の養成、女性団体との共同事業の開催等により男女共同参画社会の実現に向けて村民の意識を高めていきます。

V 文化行政方針と主要施策

村民の文化活動の成果の発表と優れた芸術の鑑賞機会の提供に努めるとともに、各種文化団体の自主的な活動を支援し、生活に潤いと充実感をもたらす文化活動の一層の振興を図ります。また、貴重な文化遺産を保護保存し後世に伝えるため、文化財の調査と適正な管理に努めるとともに伝統芸能保存団体の活動等への支援や民俗資料の収集に努めます。

《 重点事項 》

- ◆文化・芸術の振興 鑑賞機会・発表機会の拡充／文化団体の育成
- ◆文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡／旧宇堂口小学校の活用・展示

1 文化・芸術の振興

- (1) 鑑賞機会の提供

優れた文化活動や芸術の鑑賞機会を創出し、村民に提供します。

 - ① 青少年劇場の開催
 - ② 岩手芸術祭小中学校巡回美術展の開催
 - ③ プラットホーム事業等による鑑賞機会の創出
- (2) 発表機会の拡充

村民の自主的な文化活動を奨励するため、発表の機会の拡充を図ります。

 - ① 九戸村産業・芸術文化まつりの開催
 - ② 各種団体の自主的な発表会等への支援
 - ③ 書初め大会の開催
- (3) 文化団体の育成

日常的な文化活動を奨励し、文化協会やグループ・サークルの活動を支援します。

 - ① 文化協会活動への支援
 - ② 文化活動グループ・サークル結成の支援及び講師派遣

2 文化財保護の充実

- (1) 文化財保護の充実

各種調査委員会（文化財調査委員会・黒山の昔穴遺跡調査指導委員会）と連携し貴重な文化財を保護・保存し、後世に伝える活動を推進します。

 - ① 黒山の昔穴遺跡の調査・整備と国指定史跡への指定に向けた取り組み。
 - ② 旧宇堂口小学校活用による埋蔵文化財や指定文化財の適正な管理
 - ③ 天然記念物の調査と適正管理
 - ④ 郷土芸能伝承活動の支援と「九戸の山伏神楽祭典」開催など発表機会の拡充
- (2) 文化財の活用推進

文化財の活用を推進し、文化財愛護の啓蒙を図ります。

- ① 村出土遺物品の展示公開
- ② 文化財マップ作成に向けた調査・検討

VI 公民館運営方針と主要施策

村の中心的社会教育施設である公民館の機能充実と適正な運営に努めながら、公民館学級など多様な学習機会を提供するとともに、図書の実用により個人の自主的な学習活動を奨励します。加えて、地区公民館活動などの地域活動や社会教育団体の活動を支援するとともに、村民憲章実践運動など地域コミュニティ活動を活性化します。

また、少子高齢化や晩婚化、後継者対策などの諸問題に取り組むため結婚相談員の相談事業の充実を図り、活力ある村づくりを進めます。

《 重点事項 》

- | | |
|----------------|----------------------|
| ◆公民館事業の充実 | ◆コミュニティ活動の活性化 |
| ◆読書環境の整備と活動の推進 | ◆公民館の利用促進と地区公民館活動の支援 |
| ◆結婚相談所の充実 | |

1 公民館事業の充実

村民の学習要求に応えた事業を企画して、生涯の各時期における学習機会の拡充を図ります。また、主体的な学びの場として意欲と行動を後押しするとともに、交流と仲間づくりの拠点となるよう事業を展開します。

- (1) 公民館学級の開催
- (2) 学習情報の提供、学習サークルの育成
- (3) 地域公民館講座の開設（行政区、自治会、グループ・サークル等が開催する講座への講師派遣）

2 コミュニティ活動の活性化

村民一人ひとりが郷土を理解し、地域づくりを進め、住みよい豊かな村を実現するため、地域、関係機関及び各種団体との連携を図りながらコミュニティ活動を推進します。

- (1) 村づくり運動の推進（リーダー研修会、村づくり推進の集い）
- (2) 環境美化運動の推進（花いっぱいコンクール等）
- (3) 村民憲章推進実践協議会の支援
- (4) 地域に関する補助事業制度による村づくりの支援（住みたくなる地域づくり活動補助金、集落環境整備事業補助金、部落公民館整備事業補助金）
- (5) 希望郷いわて国体開催に向けた「花いっぱい運動」などの村民運動と、主体的なコミュニティ活動の取り組みへの支援

3 読書環境の整備と活動の推進

- (1) 村民の教養の向上と豊かな情操を培うため、読書活動をより一層推進するための読書環境を整備し、各種施策を展開します。
 - ①ブックスタート事業、読み聞かせ会・映画会の実施
 - ②伊保内高校との連携による九戸村地域子ども読書会の実施
 - ③九戸村読書感想文コンクールの実施
 - ④読書ボランティア研修会開催と読書ボランティアの支援
- (2) 九戸村公民館図書室の蔵書の充実を図り、利用者の利便性の向上に努るとともに、図書室の魅力づくりに努めます。
 - ①各世代のおすすめ図書とジャンル別図書の充実
 - ②新刊コーナーの設置や図書の企画展示
- (3) 「村民読書の日」を設定し、村民が読書に取り組む機運を醸成します。
 - ① “みんなで読書わくわく大作戦”（イベント）の開催
 - ② 村民がテレビやゲーム、パソコンを消し、大人も子どもも一斉に読書に取り組む読書日の設定

4 公民館の利用促進と地区公民館活動の支援

各種団体活動の拠点として、利用しやすい施設としての運営に努めるとともに、地区公民館の活動を支援します。

- (1) 公民館事業の企画運営と利用しやすい体制づくり
- (2) 地区公民館活動に対する指導・支援及び施設整備に対する支援
- (3) 視聴覚教育機材の活用促進

5 結婚相談所の充実

結婚相談所に配置した専任の相談員により、出会いの場の提供や結婚相談事業を積極的に推進し、結婚についての支援を行います。

- (1) 婚活イベントの開催
- (2) 関係機関との連携と日常相談活動の充実
- (3) 結婚支援相談サポーターとの情報交換

Ⅶ 生涯スポーツ行政の主要施策

村民が生涯にわたり明るく豊かな人生を送るため、基本となる健康を維持増進するよう、「村民1人一つのスポーツを」をスローガンに掲げ、「希望郷いわて国体」開催と併せて個々の日常的なスポーツ活動を奨励し、スポーツの生活化を進めます。また、学校、体育団体、地域等の連携を深めながら、毎日の生活に楽しみを生み出すレクのスポーツの推進に努めるとともに、各競技団体の自主的な活動の助長や指導者の養成、各種大会への参加や開催を通じて競技力の向上を図ります。

《 重点事項 》

- ◆推進体制の充実
- ◆希望郷いわて国体の開催
- ◆「村民1人一つのスポーツ」の実践
- ◆施設の整備・活用

1 推進体制の充実

- (1) 生涯スポーツ推進体制の充実に努めます。
 - ① スポーツ推進委員活動の充実
 - ② 学校、地域、各種団体及び企業との協力体制の確立
- (2) 競技力の向上、軽スポーツ及びレクのスポーツを普及するための指導者を養成します。
 - ① 指導者の育成（スポーツ推進委員やスポーツ少年団指導者等の各種研修受講）
 - ② スポーツリーダーの養成
 - ③ サポーターの養成
- (3) 体育団体の育成を図ります。
 - ① 体育協会への支援
 - ② スポーツ少年団、種目別協会、地区体育振興会活動の奨励及びスポーツクラブの育成

2 希望郷いわて国体開催

希望郷いわて国体九戸村実行委員会の国体開催方針に基づき、軟式野球競技会開催に向けた準備を進め、村民一人ひとりがそれぞれの立場で国体にかかわることにより、国体の成功と生涯スポーツの一層の振興・発展を目指します。また、国体開催を契機に、村民がスポーツに親しみ健康を維持し、スポーツが結び付ける人と人との絆を大切にすることにより、大会後には地域がさらに元気になるよう取り組みを進めます。

- (1) 競技会場及びその周辺施設の国体開催に必要な環境整備を行うことにより、村民の体力向上・健全育成施設の充実に努めます。
- (2) 希望郷いわて国体九戸村実行委員会の組織強化及び関係団体との連携を深めながら、国体の開催準備を積極的に推進し、国体の成功に結び付けます。
- (3) 体育大会等での国体PRの実施や国体開催準備活動へ各種団体・ボランティア等の参画を促すことにより、村民総参加による国体開催の機運を醸成しながら国体の開催を盛り上げていきます。
 - ① 競技観戦やスポーツイベント等への積極的な参加（選手としての参加／ボランティアとしての参加／応援団としての参加／試合観戦など）

- ② 「おもてなしの心」で迎える取り組みへの参加(花いっぱい運動／クリーンアップ運動／元気なあいさつ・笑顔での対応／郷土料理・特産品・郷土芸能など)
- (4) 村教育委員会が主催し、村公民館で開催する行事に「スポーツ・レクリエーション(国体ダンス)」を取り入れることで、国体開催機運の醸成と運動の生活化を目指します。併せて、多くの村民と一緒に体を動かし、楽しく交流することによりコミュニティの形成を図ります。
- (5) 村民の国体参加を働きかけ、村民総参加により国体を成功させ、人材の育成や地域活動へ参加するきっかけとなるよう努めます。

3 「村民一人一つのスポーツ」の実践

(1) 競技力の向上

各種大会の開催や県民体育大会など、対外的な試合に選手を参加させるとともに、学校体育と社会体育の連携を深めながら競技力の向上に努めます。

- ① 村民体育大会の開催
- ② 対外的な大会への参加奨励及び派遣費の支援
- ③ はまなすカップ総合体育大会の開催支援

(2) スポーツ・レクリエーション等の普及

生活に楽しみを生み出すスポーツ活動の推進に向け、誰でも楽しめるニュースポーツの導入・普及に努めます。また、スポーツ・レクリエーションへの関心や行事への参加をきっかけとした、若者をはじめとする村民の地域活動への参加を促します。

- ① 各種スポーツ大会やレクリエーション教室・大会の開催
- ② 地域や団体、子ども会活動及び企業における軽スポーツ活動の奨励と指導者の派遣
- ③ ニュースポーツ教室等の開催

(3) スポーツの生活化の推進

「村民一人一つのスポーツを」をスローガンに掲げ、希望郷いわて国体の開催と併せ日常的なスポーツ活動を奨励します。

- ① スローガンの周知と日常的なスポーツ活動の奨励(村広報紙等による周知・啓発)
- ② ラジオ体操の普及推進(ラジオ体操100日運動)
- ③ 体育センタートレーニングルームの利用推進(教室の開催、器具使用方法等周知の随時実施)
- ④ 生涯学習アカデミーや女性教室など、交流の場と併せた軽スポーツ等の開催
- ④ くのへスキー場の利用促進(冬季の体力増進)

(4) 健康づくり事業の推進

村長部局と協力し、自分の体のことに関心を持ち健康を意識してもらう機会を設け、健康づくりに連動したスポーツ活動を推進します。また、救急法やスポーツ安全思想の高揚を図るとともに、万一の事故に備えたスポーツ障害保健の普及に努めます。

- ① 健康づくり推進協議会との連携
- ② スポーツ健康講座や救急法等の講習会開催(村長部局および関係団体と協力)
- ③ スポーツ傷害保険の普及

4 施設の整備・活用

- (1) 各種スポーツ教室やミニ大会などの事業を企画し、体育施設の利用促進に努めるとともに、地域やスポーツの拠点として学校体育施設の開放を行います。

- ① 参加者の自主事業につなげるニュースポーツなどの教室や大会の開催

- ② 体育施設などの適切な管理運営
 - ③ 学校体育施設開放の推進
- (2) 住民の意向を把握しながら必要な体育施設の整備を推進するとともに、既存の体育施設の改修や用具の充実に努めます。

Ⅷ 重点的な事務及び事業等の点検及び評価シート

(1) 学校教育行政上の主要施策

- ① 推進体制の充実 校長会議
- ② 推進体制の充実 教員研修の充実
- ③ 学校教育の充実 学習指導の充実
- ④ 学校教育の充実 生徒指導の充実
- ⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実
- ⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実
- ⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実
- ⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実
- ⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実
- ⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実
- ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興
- ⑫ 就学奨励費
- ⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実

(2) 社会教育行政の主要施策

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| ① 生涯にわたる社会教育活動の充実 | 指導体制の確立 |
| ② 生涯にわたる社会教育活動の充実 | 指導体制の確立 教育振興運動 |
| ③ 生涯にわたる社会教育活動の充実 | 家庭教育の充実 家庭教育学級 |
| ④ 各期における社会教育活動の充実 | 青少年の健全育成
放課後子ども教室 |
| ⑤ 各期における社会教育活動の充実 | 青少年の健全育成
九戸村学校支援地域本部事業 |
| ⑥ 各期における社会教育活動の充実 | 青少年の健全育成
九戸村地域子ども読書会 |
| ⑦ 各期における社会教育活動の充実 | 青少年の健全育成
戸のまち交流事業 |
| ⑧ 各期における社会教育活動の充実 | 青少年の健全育成
九曜塾 |
| ⑨ 各期における社会教育活動の充実 | 女性教育 女性教室 |
| ⑩ 各期における社会教育活動の充実 | 女性教育 婦人団体 |
| ⑪ 各期における社会教育活動の充実 | 高齢者教育 生涯学習アカデミー |
| ⑫ 国際交流推進に向けた取組みの充実 | 青少年海外派遣事業 |

(3) 文化行政の主要施策

- ① 文化の振興 鑑賞機会の提供
- ② 文化の振興 発表機会の拡充
- ③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動

(4) 公民館運営の主要施策

- ① 生涯学習の推進 公民館の利用促進
- ② コミュニティ活動の推進 地域公民館活動の支援
- ③ 読書活動の推進
- ④ 結婚相談所の充実

(5) 生涯スポーツ行政の主要施策

- ① 推進体制の充実
- ② 実践活動の推進
- ③ 施設の整備・活用
- ④ 希望郷いわて国体の推進

Ⅱ 【教育委員会の活動状況等】

1. 教育委員会の会議の開催状況

平成28年度に開催された九戸村教育委員会の会議は次のとおりである。

期 日	区 分	議 事 等
28. 4. 22	第二回定例会	教育長諸報告 ・議案第1号 九戸村幼稚園入園の認定についての臨時専決処理に関し承認を求めることについて ・議案第2号 平成28年度九戸村教育基本方針の議決を求めることについて ・議案第3号 九戸村就学支援委員会の委嘱に関し議決を求めることについて ・議案第4号 九戸村社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・議案第5号 九戸村学校給食センター運営委員の任命に関し議決を求めることについて ・議案第6号 九戸村学校給食センター運営委員の任命に関し議決を求めることについて ・議案第7号 九戸村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・報告第1号 平成28年度九戸村一般会計当初予算の概要について
28. 6. 27	第三回定例会	・教育長諸報告 ・議案第1号 九戸村教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ・報告第1号 平成28年度九戸村一般会計補正予算〈第1号〉の概要について
28. 7. 11	第二回臨時会	・教育長諸報告 ・教育長職務代理者の選任について
28. 8. 8	第四回定例会	・教育長諸報告 ・議案第1号 平成28年度使用小・中学校教科用図書採択についての臨時専決処理に関し承認を求めることについて ・議案第2号 望ましい教育環境あり方検討委員会設置要綱

期 日	区 分	議 事 等
28. 9. 26	第五回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・議案第1号 望ましい教育環境あり方検討委員会委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・議案第2号 望ましい教育環境あり方検討委員会への諮問に関し議決を求めることについて
28. 12. 20	第六回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・報告第1号 区域外就学不承諾について ・報告第2号 望ましい教育環境あり方検討委員会について ・報告第3号 黒山の昔穴遺跡調査について ・報告第4号 平成28年度九戸村一般会計補正予算〈第2号〉〈第4号〉の概要について ・報告第5号 平成29年九戸村一般会計当初予算について
29. 2. 28	第一回定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長諸報告 ・協議第1号 平成29年度県費負担教職員の定期人事異動について ・議案第1号 九戸村学校給食センター運営委員の任命に関し議決を求めることについて ・議案第2号 九戸村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて ・報告第1号 就学指定校変更許可について

2 会議以外の活動状況

- 教育委員会会議の教育長諸報告を受け、村の教育状況や国、県の教育動向を踏まえ、情報交換と情報共有に努めた。
- 九戸村議会総務教育常任委員の学校視察等を受け、教育委員との情報交換の場を設け、児童生徒や施設設備の状況を確認し、今後の九戸村の教育在り方について懇談した。
また、九戸村小中学校長との教育懇談会の場を設け、各学校の学校経営の状況把握、情報交換と情報共有に努めた。
- 入学式、卒業式、学校公開研究会、各種行事に出席し、学校の状況把握、情報収集等を積極的に行った。
- 教育委員会協議会を開催し「望ましい教育環境あり方検討委員会」について協議を行った。

Ⅲ 【参考資料】

1 平成 28 年度 教育費内訳 (決算額)

項	目	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,151,177	1,196,480	1,188,200
	2 事務局費	18,956,050	32,772,675	32,336,573
	3 教育振興費	5,111,514	4,770,676	4,879,058
	4 住宅管理費	328,388	1,977,729	812,433
	小 計	25,547,129	40,717,560	39,216,564
2 小学校費	1 学校管理費	82,794,311	58,659,331	57,885,774
	2 教育振興費	5,373,195	6,165,289	6,182,108
	小 計	88,167,506	64,824,620	64,037,882
3 中学校費	1 学校管理費	44,676,588	42,242,050	52,099,522
	2 教育振興費	2,269,993	2,366,606	3,925,166
	小 計	46,946,581	44,608,656	56,024,688
4 幼稚園費	1 幼稚園管理費	122,480	95,700	296,177
	小 計	122,480	95,700	296,177
5 社会教育費	1 社会教育総務費	19,289,028	18,180,870	13,887,843
	2 公民館費	11,595,052	9,572,210	9,401,815
	3 住民運動費	10,129,257	10,823,591	10,722,642
	小 計	41,013,337	38,576,671	34,012,300
6 保健体育費	1 保健体育総務費	30,942,712	23,217,321	18,978,752
	2 体育施設費	45,986,844	61,140,510	27,257,874
	3 学校給食施設費	95,487,627	81,007,217	79,512,421
	小 計	172,417,183	165,365,048	125,749,047
合 計		374,214,216	354,188,255	319,336,358

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
① 推進体制の充実 校長会議

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

月例校長会議を充実させることで円滑な学校運営をはかるとともに、村内小中学校が一体となった教育推進を図ることを目的とする。

■実施状況

毎月一回定期的に行われ、主に次のような内容で行った。

- ・教育長指示伝達・・・学力向上、生徒指導の充実、生涯学習の充実、教職員の服務生涯学習の充実と学校教育との関連
- ・主な協議内容

開催月	教育長指示伝達	協 議
4月	学力向上、生徒指導、生涯学習、服務指導等々	児童生徒の状況
5月	〃	教員の人材育成の推進
6月	〃	いじめ未然防止の取組状況
7月	〃	学びフェスト進捗状況
8月	〃	生徒指導、学校不適応対策
9月	〃	授業改善
10月	〃	道徳教育の推進
11月	〃	復興教育の充実
12月	〃	学びフェストの進捗状況
1月	〃	夢と志を育むキャリア教育
2月	〃	学力向上対策の成果と課題
3月	〃	「学びフェスト」来年度構想

■成果と課題

- ・各校長には、学校の取組状況をA4版一枚程度にまとめ、資料提供を求めた。そのため、協議内容が深まり、各学校の学校経営の充実に資することができた。
- ・児童生徒の状況を話題にすることにより、学校不適応対策や学校間・校種間の生徒指導にかかわる情報共有（いじめを含む）が図られ、課題が明らかになってきた。
- ・教育委員会から一方的な指示伝達から、校長会議をとおり、学校からの願いや要望に応える姿勢で、一体となって九戸村の学校教育の充実に努めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・最大の研修の場であると思います。
- ・開催月ごとにテーマを決め、各校長より取り組み状況の提出を求め、それに基づいて協議を行うことによって、課題を共有できるし、良い。
- ・情報共有が図られ、学校と教育委員会が共通認識のもとに課題に取り組むことは非常に良い。さらにこれを基に各学校においてそれぞれの地域の実情に応じた特色ある学校経営に生かされている。教育委員会の適切な指示のもと教育活動が推進されている。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

<p>【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策 ② 推進体制の充実 教員研修の充実</p>																															
<p>【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】</p> <p>■事業の概要 村内児童生徒の実態を的確に把握し、その実態に即した教職員の指導力の向上を図り、児童生徒一人一人に確かに学力を定着させる。</p> <p>■実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施期日</th> <th>研修会名</th> <th>研修内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5 / 13</td> <td>特別支援教育支援員等研修会</td> <td>障がいの理解と支援の在り方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5 / 27</td> <td>複式指導研修会</td> <td>示範授業と講義を基にした複式指導法の在り方 (江刺家小)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9 / 28</td> <td>学校公開研究会 (国語)</td> <td>つけたい力に応じた言語活動 (伊保内小)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11 / 30</td> <td>小・中関連研修会</td> <td>教科指導 (外国語活動) と生徒指導の連携 (戸田小)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1 / 31</td> <td>幼・保・小関連研修会</td> <td>スタート・アプローチカリキュラムの作成、就学児の引継</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2 / 17</td> <td>教務主任会議</td> <td>目標達成型の学校経営と教育課程の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>■成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中と長期的な計画により、児童生徒の健全な育成を図る研修会となった。今後は、特に特別支援教育、就学支援等について幼児教育と義務教育における共通理解を進め、指導に当たる体制を確立していく必要がある。 ・九戸村授業改善プランに沿って、各学校が授業実践を積み重ねている。学校公開の機会に年一回、村内全ての教職員が授業改善の在り方を協議することは大変効果がある。 ・国・県の動向や村の子どもたちの実態を踏まえながら、教職員の更なる指導力向上を図り、学力保障を図っていきたい。 <p>【学識経験者の意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を積むこと、これは義務でもある。自信を持って子どもの前に立てる。 ・教員研修は大変良い。 ・教職員の指導力に期待するところが大きい。教職員の共通理解とスキルアップの場を設けて指導力向上を図ってほしい。研修を重ねることで自信を持って教育活動ができる。発達障がいや幼児教育と義務教育における課題の共通理解と指導体制については、教師の負担が少しでも軽減できるよう確立されたい。 					実施期日	研修会名	研修内容	1	5 / 13	特別支援教育支援員等研修会	障がいの理解と支援の在り方	2	5 / 27	複式指導研修会	示範授業と講義を基にした複式指導法の在り方 (江刺家小)	3	9 / 28	学校公開研究会 (国語)	つけたい力に応じた言語活動 (伊保内小)	4	11 / 30	小・中関連研修会	教科指導 (外国語活動) と生徒指導の連携 (戸田小)	5	1 / 31	幼・保・小関連研修会	スタート・アプローチカリキュラムの作成、就学児の引継	6	2 / 17	教務主任会議	目標達成型の学校経営と教育課程の充実
	実施期日	研修会名	研修内容																												
1	5 / 13	特別支援教育支援員等研修会	障がいの理解と支援の在り方																												
2	5 / 27	複式指導研修会	示範授業と講義を基にした複式指導法の在り方 (江刺家小)																												
3	9 / 28	学校公開研究会 (国語)	つけたい力に応じた言語活動 (伊保内小)																												
4	11 / 30	小・中関連研修会	教科指導 (外国語活動) と生徒指導の連携 (戸田小)																												
5	1 / 31	幼・保・小関連研修会	スタート・アプローチカリキュラムの作成、就学児の引継																												
6	2 / 17	教務主任会議	目標達成型の学校経営と教育課程の充実																												

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
③学校教育の充実 学習指導の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

全国学力・学習調査等の結果を生かし、授業改善により、基礎基本の確かな定着とともに、家庭地域と連携し、児童生徒が授業と家庭学習に意欲的に取り組む態度を育成する。

■実施状況

1 学力向上対策に関する会議等の実施

	期 日	会議名等	主 な 内 容
1	4 / 2 5	学力向上推進協議会①	2 8年度計画・情報交換
2	4 / 2 6	学力向上推進委員会①	2 8年度計画・情報交換
3	6 / 2 2	授業力向上研修会①	示範授業・国語（伊保内小） （県立総合教育センター 後澤大世 研修指導主事）
4	7 / 6	学力向上視察研修	秋田県大館市立小中学校視察
5	8 / 2 9	学力向上推進委員会②	全国・県学調結果分析と協議
6	9 / 2 8	学校公開研修会	国語科の授業研究会（伊保内小）
7	1 1 / 1 4	授業力向上研修会②	示範授業・数学（九戸中）
8	2 / 1 4	学力向上推進委員会③	成果と課題・2 9年度の取組
9	2 / 2 1	学力向上推進協議会②	成果と課題・2 9年度の取組

2 小中高連携学力向上推進事業

(1) 研究指定趣旨

全国学力・学習状況調査、県学習定着度状況調査や基礎学力確認調査等において明らかになった課題について、村教委及び伊保内高等学校の連携・協力の下、学習内容の確実な習得や知識・技能を活用する授業の展開に向けた工夫改善、学習意欲の伸長、学習習慣の定着等に関する実践を推進し、確かな学力の育成を図るための小中高連携を支援する。また、学力向上に関しては、小中高のスムーズな接続に課題があり、モデル地域を支援することにより、その成果の普及を図る。

(2) 研究推進

学力向上推進協議会設置 (教育委員会規則設置要綱策定)

構成員 県教委指導主事 九戸村教育推進協議会長 九戸村PTA連合会会長
伊保内高等学校長 村内小中学校長

事務局 九戸村教育委員会

(3) 研究内容

- ・学力向上推進委員会を軸に、九戸村授業改善プランを中心とした学力向上の在り方。

ポイント1 主体的な思考・判断する学習過程に	ポイント2 主体的な話し合いや交流を
ポイント3 課題意識を大切に	ポイント4 学びの足跡になる板書を

(4) 小中高共通取組

- ① 授業改善
- ② 視写・聴写
- ③ 家庭学習

■成果と課題

- ・九戸村授業改善プランの4つのポイントを意識した授業について、小中全ての学校で共通理解をして取り組むことで、浸透が図られ、児童生徒の力に結びついてきている。
- ・学力向上推進協議会が中心となり、学力向上の必要性や家庭での過ごし方等について、更に理解を図るよう啓蒙・啓発活動を進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・授業改善は教師を続けている以上する仕事である。
- ・小中高の連携の課題もあると思うが、4つのプランを基に取り組んで成果が出ているようなので、さらに学力向上に向けて続けてほしい。
- ・学力向上の共通取組事項について、さらには、学校独自に、学校ごとに様々にその取り組みを展開していると思われる。今後とも、家庭・地域が一体となって学力向上が図られるよう、啓蒙普及活動を進めてほしい。子ども達の学ぶ力を高め、「生きる力」育んでほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
④ 学校教育の充実 生徒の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

いじめ、学校不適応等への未然防止やその対策のために、今までの組織を生かした「いじめ問題への対応のための組織」づくりを進め、児童生徒一人一人が楽しく、生き生きとした学校生活をおくることができるようにする。

■実施状況

(1) いじめ未然防止及び早期発見・解決

① 「九戸村いじめ防止等のための基本的な方針」

いじめの定義

いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめ防止等のための対策（九戸村）

- ・ 道徳教育及び体験活動の充実
- ・ 児童生徒の主体的な活動の推進
- ・ 情報モラル教育の推進
- ・ いじめの早期発見の実態調査
- ・ 特別支援教育の推進
- ・ 教員研修の充実
- ・ いじめ問題対策連絡協議会の設置 →
(平成27年12月)

【構成員】

- ・ 二戸警察署九戸駐在所長
- ・ 盛岡地方法務局二戸支局総務係長
- ・ 県北教育事務所主任指導主事
- ・ 九戸村住民生活課長
- ・ 九戸村民生児童委員協議会長
- ・ 村内小中高等学校長
- ・ 九戸村 PTA 連合会長

重大事態への対処

- ・ 重大事態の報告 学校 → 九戸村教育委員会 → 村長
- ・ 事実関係を明確にする調査（学校主体か教委主体かは、十分検討し決定） →
いじめ行為、学校、教職員の対応、可能な限り網羅的に調査、客観的な事実を速やかに
- ・ 対応 → 児童生徒や保護者の心のケアなど、必要な措置を講ずる

(2) 九戸村いじめ問題対策連絡協議会（年間3回実施）

	期 日	主 な 内 容
1	5 / 2 4	28年度計画・組織の確認・各校の取組についての情報交換
2	10 / 2 5	各校「学校いじめ防止基本方針」の見直し・情報交換
3	1 / 2 5	各校「学校いじめ防止基本方針」の再点検結果について

(3) 学校不適応対策について

- ・中学校に学校生活への適応が困難な生徒の相談・支援を行うため、相談員1名を配置した。また、県教委からスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を頂き、組織的に対応した。

■成果と課題

- ・「九戸村いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、今後も関係機関との連携を密にしながら、いじめの未然防止、早期発見・解決を目指す。
- ・九戸村いじめ問題対策連絡協議会において、次年度重視すべきいじめ防止対策における6つのポイントを確認することができた。
- ・学校不適応生徒の中で、長期化しているケースについて、学校や関係機関と連携しながらどのように対応していくか、引き続き協議していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・いじめはなければよいが、現実にはある。いじめるほうは快感を得るということである。だから一つ一つ指導していくしかない。
- ・未然防止はもとより、早期発見、早期解決ができるよう教委、学校、保護者の連携を図りながら進めることが大事。
- ・いじめ、学校不適応対策等の対応については、色々ご苦労されていると思う。村においては、児童生徒一人ひとりにきめ細かく対応し、支援にあたっている様子が伺われる。それぞれの学校においても、その対応のための組織づくり、体制づくりができています。

28年度は、九戸村いじめ問題対策連絡協議会が開催され、各学校との情報交換や「学校いじめ防止基本方針」の見直し、再点検等実施したことが評価される。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑤ 学校教育の充実 連携教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

ナインズプランによる協働学習を通じて、小規模校同士の連携を深め、学校間の交流を深め、教科等の学習を深める。また、幼小、小中学校間の円滑な接続を図るために、授業公開と情報交換を行う。

■実施状況

・ナインズプラン

村内小学校4～6年生を対象に、合同授業を実施した。小規模校では十分な内容とするのでできない単元や活動を取り上げ実施した。村民に学校を公開する期間の中で、合同授業を公開した。

4年生 合同音楽（10月20日、10月26日、11月2日の3回）

5年生 体育（11月16日、11月21日、11月29日の3回）

6年生 外国語活動（11月16日、11月21日、11月29日の3回）

・幼・保・小関連研修会 29. 1. 31実施

小学校教育と幼稚園・保育園との関連・連携について協議をした。情報交換を行う中で、小学校側のスタートカリキュラム、幼稚園・保育園側のアプローチカリキュラムの作成を進めていくことで共通理解を図った。

・小中関連研修会 28. 11. 30実施

戸田小学校にて外国語活動の授業参観後、学習指導や生徒指導における小中の円滑な接続がなされるよう情報交換を行った。

■成果と課題

- ・ナインズプランにおける合同学習は、小規模・複式学級における集団での活動や学び合いの設定の難しさを補う活動を設定し、子どもたちの学習意欲を喚起すると共に、中学校進学後の人間関係づくりの面でも大きな意義が感じられた。さらに内容面の充実を図りたい。
- ・幼・保・小、小・中関連研修は、村内の子どもたちの様子を知る機会であると同時に、それぞれのスムーズな連携を図るうえで欠かせない研修の場となっている。
- ・特別な配慮を要する子どもへの支援の在り方について、更に研修を深めたい。

【学識経験者の意見等】

- ・継続を進めたい。体験で得るものが必ずある。
- ・ナインズプランの合同学習の取組は、子どもたちの学習意欲につながっているように思う。今後も内容を精査しながら進めてほしい。
- ・ナインズプラン学習は、児童生徒が減少する中でとても意義のあるものだと思う。今後とも一層教科の特質や学習集団、生活集団の良さを生かしたナインズプラン学習の充実を図れるよう望む。幼保小・小中関連研修会において、情報交換、共通理解を図ることは、とても良いことである。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策

⑥ 学校教育の充実 キャリア教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

キャリア教育推進協議会の全面的な支援の下、職場体験学習を実施する。
また、小中連携の視点を大切にした各学校のキャリア教育全体に基づき、子どもたちの将来、社会の中で主体的に生き抜く力を育む。

■実施状況

- ・平成28年度版キャリア教育体験学習受け入れ先事業リスト作成（31箇所）
- ・キャリア教育アドバイザーの選定（23人）
- ・3日間、九戸中学校2年生による職場体験学習を実施。7/5 ～ 7/7
- ・受け入れ事業者は22箇所
- ・児童生徒が将来の社会人、職業人として生きていくために必要な能力を意識した学習活動や学校生活

■成果と課題

- ・村内事業者の全面的な協力により職場体験学習を実施することができ、生徒は、職業人・社会人として必要なコミュニケーション能力の必要性を強く感じていた。
- ・小中の発達段階に応じたキャリア教育をより一層充実させるに、日常の授業や学校生活における総合生活力の育成を意識した指導を計画的、継続的に実施していく。
- ・地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域から学ぶ「ふるさと教育」へとつなげていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・わかりましたかと言ってわかることではない。体で覚える。体感する。
- ・いろんな仕事、人とのつながり等社会人として生きていくための体験は地域、ふるさとを学ぶことにもなり素晴らしいこと。更なる充実を望む。
- ・将来を担う子どもたちを地域で育てるというキャリア教育の認識のもと、村内事業者及びアドバイザーの皆さんの協力を敬意を表す。職場体験の様子が村広報誌にも紹介され、その成果が感じられた。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策

⑦ 学校教育の充実 時代に対応する教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

外国語指導助手及び外国語活動補助員の活用により、中学校英語教育充実を図るとともに、小学校外国語活動や国際理解教育の振興を図る。

■実施状況

- ・九戸中学校に、外国語指導助手を通年派遣し、英語教科指導の充実を図る。また、各種の教育活動にも積極的に参加し、国際理解教育の推進を図る。村内小学校にも必要に応じて派遣し、中学校同様、国際理解教育を推進した。(中学校派遣日数154日、小学校50日・・・各小学校10日)

- ・村内小学校には、外国語活動補助員を各小学校に派遣し、英語に親しむ活動や国際理解教育を推進する補助員として活動した。

派遣日数	伊保内小	33日	長興寺小	36日	戸田小	36日
	山根小	33日	江刺家小	33日		

■成果と課題

- ・中学校の英語科教員と外国語指導助手とのTT指導により、リスニング能力とプロナンス能力高めることができている。今後は、英語への関心を高めると同時に総合的な英語力を高めていきたい。
- ・意欲的に外国語や異国の文化に親しむ態度が養われつつある。中学校の英語活動との関連を考慮した指導法の改善を図っていきたい。
- ・外国語活動のねらいを担任がしっかりと把握し、授業をコーディネートしていく必要がある。

【学識経験者の意見等】

- ・継続は力なり。
- ・いろんな成果が出ているように思う。更なる英語力向上を願います。
- ・これから、ますます外国語活動や国際理解が重要になってくる。今後とも継続して推進し、英語に親しむ機会を提供してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑧ 特別支援教育の充実 就学支援の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

就学支援委員会を開催し、教育上特別な配慮や支援を要する児童生徒に対して、的確で効果的な教育を推進する。

■実施状況

- ・就学支援委員会を年3回実施した。
第1回目 6月 8日 昨年度の業務報告、今年度の計画、措置状況の確認
第2回目 9月 9日 対象児童生徒の状況確認、個別検査の有無検討
第3回目 11月 9日 最終判定
- ・校内就学支援委員会や個別検査等を実施して、児童生徒の実態に応じた望ましい就学や教育環境の在り方を検討し、丁寧な就学指導を進めた。
- ・通常学級在籍で要観察児童生徒のために、特別支援員6名を配置し、個に対応した支援の充実を図った。
- ・特別支援員配置校 伊保内小2名 戸田小1名 江刺家小2名 九戸中1名

■成果と課題

- ・環境を整え、より個に応じた細やかな支援を実施することができた。
- ・児童生徒の障がいに応じた適切な教育環境を整えるよう、幼・保・小・中での情報交換をもとに、長期的な計画を策定し指導していきたい。
- ・特別支援学級適の児童生徒で、普通学級に在籍する就学指導は、福祉関係、家庭との十分な連携、理解により進めていきたい。
- ・特別な配慮を要する児童生徒への支援の在り方について、指導者の研修を更に進めていく。

【学識経験者の意見等】

- ・児童の理解を。そしてきめ細かい指導の繰り返し。
- ・支援員の配置もされており、今後も適正配置と保護者との連携を図りながら進めてほしい。
- ・児童生徒の長期的な支援計画を策定し、指導にあたることは、とても大切である。家庭との関係を大事にし、支援学校、相談機関等とも連携した指導を進めてほしい。また、指導者の研修においても充実を図って進められたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑨ 学校保健・安全教育の充実 学校給食の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

安全で栄養豊かな給食を提供するために、学校給食をセンターの適正な管理に努め、児童生徒の正しい食事習慣の確立と発達段階に応じた栄養の摂取についての指導の充実を図る。

■実施状況

- 1 学校給食施設の管理運営
一般財団法人九戸教育施設運営会に委託し、管理運営にあたった。
- 2 学校給食の実施

区 分	給食日数	延食数	給食単価	実施対象人数
小学校	184 日	61,371 食	239 円	児童・教職員 336 人
中学校	190 日	32,092 食	277 円	生徒・教職員 173 人
伊保内高等学校	146 日	16,726 食	230 円	生徒・教職員 122 人
給食センター	202 日	2,256 食	277 円	給食センター職員 10 人
計	給食日数 202 日	112,445 食		米飯給食 週 4 回 パン給食 週 1 回

- 3 地産地消推進の取り組み
九戸村農業者学校給食応援隊や(株)ふるさと振興公社の協力により、当村産米及び野菜を学校給食に取り入れた。
- 4 放射性濃度測定の実施
 - (1) 調理前の野菜 36回(週1回測定)
 - (2) 農林建設課より依頼 無
- 5 備品・機器等の更新
フードスライサー・さいの目切機、スチームコンベクションオーブン、空調設備

■成果と課題

- ・施設の衛生管理に十分に配慮し、安全点検や感染予防策に努めるとともに、食材サンプル放射能測定を実施し、安全・安心な給食を提供した。
- ・給食センターの備品・器具の計画的な整備、更新をしていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・栄養バランスに給食が貢献していると思う。そうでないと食べたいものばかり食べるだろう。
- ・地産地消の取組は大変良いと思う。このことによって食に対するの安心、安全また食の大切さの意識向上につながると考えられ、良い。
- ・今後とも、安全安心のために地産地消の取組と、給食センターの設備、器具等の整備更新を計画的にやっていただきたい。アレルギー対策の給食提供については、今後ともできるだけ続けてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑩ 学校保健・安全教育の充実 健康教育の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

各種検診や健康相談等による健康教育を充実させることで、児童生徒の心身の健康保持及び健康増進を図る。

■実施状況

1 児童生徒の健診状況

検診区分	対 象	幼稚園 (人)	小学校 (人)	中学校 (人)	計 (人)
定期健診(内科、耳鼻科、眼科)	児童、生徒、 幼児	3 (内科のみ)	807	453	1,263
歯科検診	児童、生徒、 幼児	3	269	151	423
心臓検診	小1年・4年、 中1年		84	49	133
貧血検査	小5年、6年、 中2・3年		100	136	236
尿検査	児童、 生徒		269	149	418
脊柱側弯検査	小5年、6年、 中1年		100	56	156
生活習慣病検診	中1			45	45
就学時健診	就学時児童		33		33

■成果と課題

- ・三医師会、九戸村学校保健会との連携により、定期的な健康診断と各学校とも充実した内容による健康教育が推進されている。今後は、家庭との密接な協力のもと、生活習慣病に力を入れていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・積極的に推進を。
- ・健全育成も健康からと思うので、定期的な健康診断などが行われており継続的に健康教育の充実を望む。
- ・今後とも、関係機関と連携をとって、健康教育を充実させてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】	(1) 学校教育行政の主要施策 ⑪ 高校教育の支援 高校教育の振興
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】	<p>■事業の概要</p> <p>伊保内高等学校の教育振興のため魅力ある学校経営を支援するとともに、身近な地域の地元高校で学べる環境整備作りを支援する。また、学費補助や研修補助、通学費補助や村の体育施設の無償開放を継続する。</p> <p>■実施状況</p> <p>1 各種会議に参加し、中高連携の意義や伊保内高等学校の魅力を伝え、地元高校への進学意識を醸成した。</p> <p>28. 5. 30 九戸村中高教育連絡協議会春季総・授業公開出席 教職員対象</p> <p>28. 7. 4 中学生高校一日体験入学出席 中学校3年生、保護者、教職員対象</p> <p>28.11. 7 進路事務説明会 中学校3年生、保護者対象</p> <p>28.11.22 九戸村中高教育連絡協議会秋季総・授業公開出席 教職員対象</p> <p>2 伊保内高等学校教育振興会と連携し、高校の魅力創りを支援し、関係機関に地元高校存続を要望したり、生徒の進学意識を醸成したりした。</p> <p>28. 7.21 伊保内高等学校存続市町村要望</p> <p>28. 8. 4 伊保内高等学校教育振興会総会</p> <p>28.11.11 伊保内高等学校教育振興会理事会</p> <p>28.11.26 伊保内高等学校入学のお願い、文書配布 戸別訪問</p> <p>3 就職、進学費対応補助、研修補助 238万円（前年度からの繰越含む） ナインズ球場、体育館等無料開放 通学補助は、総務企画課により支援する。</p>

■成果と課題

- ・関係機関との連携により、伊保内高等学校の魅力創り支援を積極的推進することができ、生徒、保護者、地域住民の地元高校への理解が深まった。
- ・生徒の進路希望と地元高校への進学が、必ずしも一致せず、二学級定員を大きく下回る結果となった。新たな県立高等学校再編計画により29年度から1学級募集となることから、生徒の進路希望は尊重することはもちろんであるが、地元高校への進学意識が高まるよう学校間の連携、関係機関団体との協力を一層深めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・地元高校の支援を。なくなったら結局村民が困る。
- ・魅力づくりなどの成果が出ているが、生徒数の減少は否めない。そんな中でも高校存続は地域の願望でもあり、地元高校への進学意識の高まりを望む。
- ・読書活動や郷土芸能委員会の活躍は素晴らしいものである。地元高校への理解が深まった。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策 ⑫ 就学奨励費		
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】 ■事業の概要 心身や経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、小中学校での就学に必要な支援を行う。 ■実施状況		
要保護・準要保護就学援助費 (小学校) ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費・修学旅行費 ・学校給食費・医療費 ・新入学児童学用品費 ・体育実技用具費 ・児童会費 ・PTA会費	のべ 160人	2,119,225円
要保護・準要保護就学援助費 (中学校) ・学用品費 ・通学用品費 ・校外活動費・修学旅行費 ・学校給食費・医療費 ・新入学生徒学用品費 ・クラブ活動費 ・生徒会費 ・PTA会費	のべ 74人	1,559,223円
特別支援教育就学奨励費 (小学校) ・学用品、通学用品購入費 ・校外活動費・修学旅行費 ・学校給食費 ・新入学児童生徒用品費 ・体育実技用具費 ・交通費 ・拡大教材費	のべ 12人	115,122円
特別支援教育就学奨励費 (中学校) ・学用品、通学用品購入費 ・校外活動費・修学旅行費	のべ 3人	35,972円

<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費 ・新入学児童生徒用品費 ・体育実技用具費 ・交通費 ・拡大教材費 		
ことばの教室通級助成	のべ 6人	59,508円

■成果と課題

- ・年々増加傾向にあるが、児童生徒の学習、クラブ活動等が円滑に行われ、学校生活が充実するよう配慮している。今後も予算の増額が予想されるが、経済的な理由により、学習に支障きたすことのないように、当該生徒の保護者と十分連絡を取りながら事務手続きを進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・適切な支援を。
- ・学校生活に支障のないよう配慮されており、良い。
- ・今後とも、児童生徒の状況を的確に把握して、支援を行って欲しい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (1) 学校教育行政の主要施策
⑬ 教育環境の整備 施設設備の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

学校教育関係施設・設備の整備充実と管理の適正化に努め、学校教育の充実を図る。
また、
時代に対応する教育の充実と教職員の子どもと向き合う時間を確保するために、コンピュータの整備充実を図る。

■実施状況

1 小学校ー施設設備・備品関係

・伊保内小学校電話交換システム修繕	3 2 6, 2 9 2 円
・伊保内小学校大便器修繕	1 6 2, 0 0 0 円
・伊保内小学校校舎前路面補修 他	1 6 9, 7 7 2 円
・長興寺小学校電話交換システム修繕	4 0 5, 6 4 8 円
・長興寺小学校プールろ過装置修繕	3 8 1, 0 2 4 円
・長興寺小学校保健室床修繕	1 1 9, 0 0 0 円
・長興寺小学校屋外防犯灯修繕 他	3 4 0, 4 4 4 円
・戸田小学校ブランコ座板・チェーン修繕	1 5 5, 5 2 0 円
・戸田小学校跳び箱張替え	8 6, 4 0 0 円
・戸田小学校体育館戸車修繕 他	1 0 0, 0 0 0 円
・山根小学校渡り廊下雨漏り修繕	2 5 9, 2 0 0 円
・山根小学校体育館舞台・引幕引分け紐修繕	9 0, 7 2 0 円
・山根小学校給食室シャッター修繕 他	6 3, 0 7 2 円
・江刺家小学校排水ポンプ修繕	8 4, 9 9 6 円
・江刺家小学校小荷物専用昇降機メインリレー修繕	7 7, 0 0 4 円
・江刺家小学校F F 式ストーブ修繕	6 8, 5 0 0 円
・江刺家小学校給湯器修繕 他	3 0 2, 1 3 2 円
・旧宇堂口小学校小体育館便所他修繕	2 7 0, 3 2 4 円
・旧宇堂口小学校浄化槽修繕 他	1 8 6, 1 9 2 円
・一般備品 (F F 式暖房更新等)	7, 2 0 2, 6 7 4 円
・機器備品 (パソコン教室更新・実物投影機等)	6, 6 2 9, 3 6 4 円
・図書備品	1, 2 5 0, 6 2 1 円

2 中学校ー施設設備・備品関係

・プール修繕工事	2, 3 7 6, 0 0 0 円
・体育館舞台・中幕レール修繕 他	5 9 2, 3 9 0 円
・一般備品 (F F 式暖房更新等)	9 7 5, 7 0 2 円
・機器備品 (実物投影機・校務用プリンタ等)	1 8 1, 6 5 6 円
・図書備品	3 0 8, 9 7 7 円

■成果と課題

・安心・安全な学校生活を送ることを第一に、緊急に必要な修繕箇所、暖房器具等備品の修理を行った。一般備品、図書購入等は、子どもたちの学習環境整備のために、必要な予算を確保するよう努めた。伊保内小学校のコンピュータ更新にあわせ、校内無線 LAN、教育用タブレットの整備を行った。

各学校の設備は、ほぼ同年代に購入・設置されたものが多く、修繕・取替の時期が重なっている状況である。特に、小学校プールの老朽化が激しい状況にあり、多額の修繕費が必要となってきた。子どもたちの安全面を最優先としながら、短期・長期的な計画により、施設設備の充実を図っていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・教育活動に支障が出ないようよくやっている。
- ・子どもたちの学習環境整備がなされており、大変良い。
- ・今後とも、学校の施設整備については、遊具も含め、施設内及び器具の点検や事故防止の注意喚起を徹底していただきたい。学習環境の整備について、学習活動に支障が出ないよう、また、教職員の教育活動にも便宜が図られるよう支援されたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策
① 生涯にわたる社会教育活 推進体制の確立

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

村民が地域の生活の中で自己の充実や生活の向上のため、自らが選択した学習課題を自己に適した手段・方法で生涯を通じて学び続けるという生涯学習の推進を図るため、推進体制を整備しながら多様な学習情報・学習機会を提供する。

■実施状況

1 推進体制の整備

(1) 審議会及び推進組織状況

生涯学習推進組織名	員数	会議の開催等	備考
生涯学習推進協議会	15	5月16日・12月7日	社会教育委員兼務
社会教育委員会	15	5月16日・12月7日	
青少年指導員	7	6月3日	年間活動
青少年問題協議会	15	5月16日・12月7日	
文化財調査委員	5	6月30日・3月2日	

(2) 主な事業活動

事業名	事業の概要	期日等	参加対象等
生涯学習だよりの掲載	広報くのへに毎月「生涯学習だよりの掲載」を掲載した。	年間	村民
生涯学習・保健ガイドの発行	生涯学習関連行事、講座案内等のほか村内各機関・団体の行事予定をまとめた「生涯学習・保健ガイド」を全世帯、事業所等に配布した。	年4回	村民 関係機関 団体

■成果と課題

- ・各種会議の協議内容を関連させるように配慮したため、青少年問題対策は連動した内容により協議を深めることができた。
- ・全世帯に配布した「生涯学習・保健ガイド」により、村民への生涯学習への関心を深めることと各種講座に参画・参加する資料となっている。
- ・各種会議では、毎年度繰り返す内容と生涯学習の環境整備や村民のニーズに応じた内容となるよう工夫していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 繰り返す内容となるも、必要なものだから。
- ・ 学習意欲が出るような内容になっており良い。
- ・ ひとりでも多くの村民が「学ぶ」あるいは「生きがい」を意識できるように引き続き「生涯学習ガイド」の発行を続けてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】（２）社会教育行政の主要施策

② 生涯にわたる社会教育活動の充実 指導体制の確立 教育振興運動

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

全小学校、中学校、伊保内高等学校、幼保施設における教育振興運動を助長しながら、子ども、教師、保護者、地域社会、教育行政5者が一体となった体制作りをすすめ、児童・生徒の健全な成長を促す。

■実施状況

- ・ 28. 5. 9 第1回事務局会議 総会提出議案検討
- ・ 28. 5. 25 平成28年度総会 事業報告と事業計画
- 研修会 ① 講師 県北教育事務所社会教育主事 西野 悟 氏
内容 「これからの教育振興運動について」
- ② 講師 県北教育事務所指導主事 柳原 政輝 氏
内容 「村内児童・生徒の家庭学習の状況について」
- ・ 28. 12. 2 第2回事務局会議 集約集会内容検討
- ・ 29. 1. 27 第3回事務局会議 集約集会運営協議
- ・ 29. 1. 29 九戸村教育振興運動集約集会

■実践事例発表

- ・ 伊保内保育園実践区 「強い子、食べる子、元気な子
～あたりまえのことをあたりまえにできる子を目指して～」
- ・ 江刺家小学校実践区 「健やかなれ、江刺家の子 ～稲作農業体験を通して～」

■鼎談

- ・ 講師 希望郷いわて国体軟式野球競技出場選手 河村泰輔氏・橘 廉氏
漆原一三教育長
- ・ テーマ 「希望郷いわて国体に参加して～希望・感動・感謝～」

■成果と課題

- ・ 限られた時間ではあったが、総会後に研修会を設定し、「共通課題」の考え方や地域の課題である「家庭学習」の実態について協議会構成員の方々と学び合うことができた。
- ・ 集約集会「鼎談」では、小中高生にも参加してもらい、各実践区及び村全体で取り組んだ「いわて国体」を振り返ることができたこと、村内出身の選手二人から夢と希望にあふれる話を聞くことができたことは、運動の趣旨にも沿い、有意義だった。
- ・ 協議会として、県の共通課題と地域の課題解決に向けた統一した取り組みをどう進めていくか、手立てを考えたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ いろいろ考えて実施して、反省して盛り上げようと努力している。
- ・ 集約集会で、小中高生の参加のもと、いわて国体に出場し、活躍した村出身の選手から話を聞くことで生徒たちに夢と希望を与えたと思うのでよかった。
- ・ 教育振興運動の目的、歴史を再確認しながら、運動を進めていることに意義深く感じる。今後とも、教育振興運動の共通課題やこれらの情報提供を進めていただきたい。集約集会では、盛り上がりを見せた「いわて国体」を振り返ることができ大変有意義であった。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

③ 生涯にわたる社会教育活動の充実 家庭教育の充実 家庭教育学級

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

幼児期から少年期における家庭教育は、他の時期において代えがたい大切な役割を持つものであることから、親として学習する機会を設け、家庭教育に関する力量を大いに高め、子どもの健やかな成長につなげるため家庭教育学級を開設する。

■実施状況

家庭教育学級の円滑な事業推進のため、主事会議を1回開催した。

- ・平成28年5月9日 第1回会議 実施状況と開設について

各団体の家庭教育学級の主な実施内容は下記のとおりである。

学級名	主な実施内容
伊保内小学校家庭教育学級	親子料理教室・図書講習会
長興寺小学校家庭教育学級	救命講習会・防災講演会・親子ヨガ教室
戸田小学校家庭教育学級	校長講話・ピグラムヨガ教室
山根小学校家庭教育学級	救命救急法講習会・薬物乱用防止教室・お茶会・親子料理教室
江刺家小学校家庭教育学級	親子環境美化活動・郷土料理・スマホ-ケータイ安全教室
中学生を持つ親の学級	子育て懇談会・折爪荘親子奉仕作業・親子レクリエーション
幼児を持つ親の学級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸田保育園 親子餅つき会 ・ 伊保内保育園 講演会「乳幼児期に大切なこと」 ・ ひめはたるこども園 おやつ作り講習会

■成果と課題

- ・各家庭教育学級とも会員の必要性に応じ工夫された内容により事業を展開し、親同士のつながりや家庭での在り方等について研修を深めることができた。
- ・家庭教育学級の目的に照らし合わせ事業内容を見直しながら、今日の教育課題について見聞を広げたり深めたりする内容を検討していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・知恵を絞りニーズに合った内容を実施している。
- ・親子での学習が多く、大変良い。
- ・家庭教育の重要性を認識してもらうために、各学級とも工夫して事業を展開している様子が伺われる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

④ 各時期における社会活動の充実 青少年の健全育成 放課後子ども教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

放課後や週末に小学校などを活用し、地域の方々が指導者やボランティアとして参加して、子どもたちがスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行うため、放課後子ども教室を開設する。

■実施状況

1 開設教室・開設日数・利用人数等

開設教室名	開設日数	延べ利用人数	1日平均利用人数
つくし教室(戸田小)	175日	延べ 2,159人	12.3人
ふれあい教室(山根小)	109日	延べ 2,213人	20.3人
いちょう教室(長興寺小)	177日	延べ 5,871人	33.2人
おりつめ教室(江刺家小)	176日	延べ 3,788人	21.5人

※ 年間利用児童延べ人数 14,031人

2 開設時間

各教室とも午後2時30分から午後4時30分までの2時間

3 安全管理員の配置

各教室2名配置

4 参考 (住民生活課所管事業)

開設学童保育	開設日数	延べ利用人数	1日平均利用人数
九戸村学童クラブ(伊保内小)	284日	7,982人	28.1人

■成果と課題

- ・安全管理員が見守る中で、子どもたちは、スポーツや文化活動、地域との交流活動、授業の予習や復習など学習活動に取り組み、有意義な放課後の暮らしができています。
- ・関係機関と連携して「放課後子どもプラン」の策定を進め、放課後の子どもたちの居場所と豊かな体験活動が行われるよう検討していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・親の立場から安心して仕事ができることは生活を守ることにつながる。
- ・地域住民との交流活動が行われており、子どもたちはいろんな体験ができ意義あるもの、大変良い。
- ・子どもの安全が確保されていることが大きい、また、子どもたちが有意義な放課後の暮らしができていたことが何よりである。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

- ⑤ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成
九戸村学校支援地域本部事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

教育振興運動の九戸村地域課題である「家庭学習の充実」「読書活動の推進」の積極的な推進を図るため、学習ボランティア、図書ボランティアを各学校に派遣し、学社連携教育の充実を図る。

■実施状況

(1) 対応内容

- 家庭学習の充実 — 宿題の丸付けや一人勉強の課題作成、授業補助
読書活動の推進 — 本の並び替えや整頓・図書館管理運営補助、図書館整備

(2) 対応回数

- 家庭学習の充実 — 授業の補助 16回対応
読書活動の推進 — 図書館整備 44回対応

■成果と課題

- ・各学校の要望を受け、授業補助、図書館整備、管理運営の補助を行った。村内小中学校の図書室の整備、管理運営の補助により、読書環境が整備された。
- ・人材確保の面から学校からの要望に応じることができたものとそうでないものがあったが、効果がある事業となった。今後も、人材確保に苦慮されることが予想されるが、本事業を継続して行い、教職員が子どもたちに向き合う時間の確保など、学校教育活動を支援していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・大事な仕事のサポートである。結局児童のサポートにつながる。
- ・ボランティアの活動によって、教職員が子どもたちに向き合う時間が確保されることは大変良い。
- ・「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」の積極的な取り組みにより、教職員が子どもと向き合う時間が確保されることは、とても良いことである。今後とも継続して充実を図っていただきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑥ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成 九戸村地域子ども読書会

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

高校生ボランティアによる「宮沢賢治の童話」や「九戸村の民話」の手作り紙芝居、読み聞かせなど実施して、子どもたちの読書への関心を喚起するとともに、ボランティア活動の場及び異年齢間の交流の場とし、それぞれの社会性を育成する。

■実施状況

- (1) 実施期日 平成29年1月5日 ～ 1月6日
- (2) 高校生ボランティア 伊保内高等学校生徒 生徒数88名
- (3) 内容 宮沢賢治作品の読み聞かせをする。
- (4) 実施場所

実施場所	子ども会名	参加人数	伊高生徒数
泥の木集落センター	宇堂口・平内・妻の神	28	6
戸田老人福祉センター	戸田上・下、牛の馬場上・下	29	7
山根小学校	山根小学校全子ども会	20	6
荒谷桂藤会館	荒谷	22	6
川向公民館	川向	31	6
伊保内ふれあい会館	鹿島・二ツ家	12	6
まさぎね館	伊保内上町・下町	15	6
小倉公民館	南田・小倉	37	6
銀杏会館	長興寺小学校子ども会	43	7
江刺家ふるさとセンター	江刺家小学校子ども会	36	7
特別養護老人ホーム折爪荘			8
グリーブホームおりつめ			7
おりつめの里			10
合計		児童273	88

■成果と課題

- ・九戸村の特色ある教育的伝統行事として行われており、小中高の子どもたちが「宮沢賢治の作品」を通して、読み聞かせの楽しさと伝統ある行事でつながっている意識を持っている。
- ・児童数・生徒数の減少にあった企画による内容を充実させたい。

【学識経験者の意見等】

- ・児童の読書活動の推進のきっかけになっている。高く評価する。
- ・伊保内高校による伝統行事になっており、また、地域住民との交流もなされており、継続を望む。
- ・継続行事として定着している読書会であり、各方面からの評価も高い。今後とも本を通じての世代間交流・地域活動として継続して欲しい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑦ 各時期における社会教育活動の充実 青少年の健全育成 戸のまち交流事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

生活体験や自然体験を通して、仲間づくりの方法や社会のルールを学ぶとともに、「戸の兄弟のまち」である六戸町と九戸村の子どもたちがキャンプやスキーを通じて交流を深める。

■実施状況

1 「戸の兄弟のまち交流事業」夏季交流キャンプ (六戸町教育委員会主催)

- (1) 実施期日 平成28年7月27日 ~ 7月28日
(2) 実施場所 六戸町 旧柳町小学校
(3) 参加者 九戸村6年生 44名 九戸村育成会役員 7名
六戸町3年生以上18名
主な内容 宿泊テント設営、バーベキュー、キャンプファイアー、五右衛門風呂

2 「九戸村スキー交流会」(九戸村教育委員会主催)

- (1) 実施期日 平成29年1月28日
(2) 実施場所 九戸スキー場
(3) 参加者 六戸町小学生 6名 中学生 9名 保護者 4名 関係職員 6名
九戸村小学生21名 保護者17名 関係職員 5名
(4) 主な内容 スキー交流会、班対抗雪玉作り合戦

■成果と課題

- ・グループ活動を意識的に取り入れて実施したことで、初めて会う相手と協力をする機会とした。これにより、協調性を養うことに貢献した。
- ・平成6年から実施されている。「戸」のまちに生きる子どもたちの共通的・共感的な郷土愛づくりに貢献する事業として、今後も継続していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・スキー等のふれあいでスキーが好きになるように思った。スキー指導する指導者の優れた指導があった。
- ・村外の子ども、県外の子どもとの交流は、互いの仲間意識、互いの郷土愛や協調性を養う機会となって大変良い。
- ・今後とも継続して交流事業を実施してほしい。学校とは異なる生活体験、自然体験を通じ、他校の子どもたちや他町の子どもたちとの交流も貴重な体験になると思う。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑧ 各時期における社会活動の充実 青少年の健全育成 九曜塾

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

九曜塾では、土曜授業に代わる体験活動を実施し、「知・徳・体」のバランスのとれた子どもたちを育成する。九戸村の自然や文化、歴史にふれ、子どもたちの感性を刺激するような体験活動を行うことを目的に、村内の小学生を対象に実施する。

長期休暇中には寺子屋九曜塾を開催し、意欲的に学習に取り組もうとする児童に学びの場を提供するとともに、学習の“つまずき”を個別に支援することにより、九戸村内児童の学力向上に資する。また、英語教室を特別に取り入れることにより、グローバルに適用した学習に寄与することを目的として実施する。

■実施状況

(1) 九曜塾

回	期 日	学 習 の 内 容	人数
1	5月28日(土)	森林学習・開講式～五感を駆使して自然をいっぱい感じよう～ 場所：コロボックルランド 講師：夏井 嘉一郎 氏	24
2	6月11日(土)	塩の道学習～九戸村にも塩の道があった～ 場所：スーパー林道～九戸峠・わこどり山 講師：岩渕 好生 氏(九戸村山友会)	18
3	7月23日(土)	ヒメホテル観察会～ナイトウォークを楽しもう～ 場所：折爪岳山頂付近 講師：上柿 初雄 氏	14
4	8月6日(土)	九戸政實公学習 場所：九戸村内～二戸市 講師：木村 正樹 氏	14
5	9月24日(土)	世代間交流(生涯学習アカデミー会員と) 場所：パークゴルフ場・ふるさと創造館 講師：小笠原 マサ子 氏(おしばなの会)	24
6	10月8日(土)	紅葉狩り&村内遺跡探検～九戸村の魅力を探そう～ 場所：九戸村内(ヤマナシ⇒庚申塔⇒熊野館跡⇒羽黒神社) ⇒江刺家ふるさとセンター(昼食)⇒折爪岳の滝 講師：村田 勝義 氏(九戸村山友会)	22
7	11月13日(日)	創作活動～楽しいな、ものづくり「ミニほうき作り」～ 場所：高倉工芸(倉野) 講師：高倉 清勝 氏	19
8	12月10日(土)	郷土料理～郷土料理ってすごい～ 場所：九戸村山村開発センター 講師：上柿 幸子 氏(食の匠)	17
9	1月28日(土)	戸のまちスキー交流会(六戸町と合同開催) 対象：村内小学生 場所：村営くのへスキー場 講師：教育委員会職員	21
10	2月18日(土)	雪遊び「かんじき体験」閉講式～雪って楽しい、九戸の自然はすばらしい～ 場所：就志森～山村開発センター 講師：村田 勝義 氏(九戸村山友会)	19
合計 220人 (うち 定期開催 10回合計 192人)			

(2) 寺子屋九曜塾

期 日	学 習 の 内 容	人 数
8月8日、9日、10日	夏休み寺子屋九曜塾 場所：開発ホール 講師：グレアム マッケンジー氏 マッケンジー博子氏 内容：1部「Genki English タイム」 2部「いきいき宿題タイム」	11 (延べ24)
12月27日、28日 1月10日、11日12日	冬休み寺子屋九曜塾 場所：開発ホール 講師：グレアム マッケンジー氏 マッケンジー博子氏 内容：1部「Genki English タイム」 2部「いきいき宿題タイム」	35 (延べ107)

■成果と課題

- ・土曜日や休日における体験学習として、今年度は村内での活動に限って進めてみた。その結果、子ども達の九戸村への理解につなげることができたのではないかと考える。
- ・世代間交流を今年度初めて行ったところ予想以上に好評だった。来年度も高齢者から子どもの頃の話をしていただくなど、子ども・高齢者相互の理解と親睦を図っていきたい。
- ・来年度も九戸村の地域素材や人材を生かしながら、豊かな体験活動が行われるように進めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・自分で考え行動する力を養うためにすばらしい学習内容が盛り込まれている。
- ・村内の小学生が参加しており、村の知識人とのふれあい・交流もあって、村のいいもの、いいところの発見につながり、良い。
- ・自分たちが住んでいる村のこと、自然や歴史について学び、また参加した子どもたち同士、世代間の交流もできてとても良い事業である。子どもたちの豊かな体験活動を育む良い事業である。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑨ 各時期における社会教育活動の充実 女性教育 女性教室

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

身近な生活に役立つ学習を基本に、村内女性の交流を広げるとともにそれぞれの持つ個性や能力を生かし、自らの資質を向上させながら社会参加に向けた意識の醸成の場として講座等を開設する。

■実施状況

1 開設講座等 登録者 47名

日 時	講座名	内 容	場 所	講 師	人数
4月22日(金) 11:00～	プログラム開発 委員会議	プログラム検討	開発センター		5
5月17日(火) 14:00～	合同開講式	開講式 14:00～ 記念講演 14:30～ 「健康に楽しく美しく生きるために」	HOZホール	(株) 惣兵衛代表 島山 さゆり氏 (花巻市)	29
6月15日(水) 14:00～	創作活動1	まゆクラフトを体験しよう 「繭でつくるわんこ兄弟」	産業振興研修 室	江見夏恵 氏 (盛岡市)	19
7月 1日(金) 8:20～	移動研修 (ガーデニング)	花づくりと庭づくりを学ぶ 手作り村鯉艸郷・東八甲田ロ ーズカントリー	十和田市 七戸町		25
8月30日(火) 14:00～	創作活動2	スクラップブックング 「ミニアルバムを作ろう」	産業振興研修 室	水本優子氏 (盛岡市)	5
9月15日(木) 13:30～ 20日(火) 10:00～ 21日(水) 9:00～ 23日(金) 13:00～	国体おも てなし活 動	国体に参加しよう! 「押し花でしおりづくり隊」	開発センター	小笠原マサ子氏 やまびこ押花教室 (村内)	58
10月12日(水) 8:00～	移動研修	文学散歩に出かけよう 「宮澤賢治記念館」他	花巻市		24
10月28日～ 10月30日	文化祭出展	「九戸村産業・文化まつり展 示部門」に参加しよう	開発センター		14
11月24・25日 10:00～	料理教室	食の匠の技を味わう 「手打ちうどんに挑戦」	調理室・産業振 興研修室	山下ミヨ氏 桂川祥子氏 (村内)	19
12月16日(金) 14:00～	健康教室 (合同講座)	「加齢に伴う姿勢保持筋の 筋力低下予防のトレーニン グ」	HOZホール	岩本紗由美氏 東洋大学 准教授	18
1月24日(火) 14:00～	講演会 (合同講座)	講演 演題「今が最高の喜びの時」	HOZホール	小松遊平氏(二戸市) (株) 岩手屋副社長	21
2月21日(火) 10:30～	合同閉講式 卒業パーティー	閉講式 10:30～ 卒業パーティー11:00～ 「1年間の学びを楽しく振 り返ろう」	HOZホール		23
延べ参加人数					260

■成果と課題

- ・「国体おもてなし活動」の取組を通して受講者同志の交流がより深まりその後の講座の取組への意欲向上につながった。また、「地域活動への参加」「複数回にわたる講座」など、新しい視点でプログラムを開設できたことも成果である。
- ・「教室だより」の発行により、参加者の学びを深めるとともに、会員全体に広げ、共有することができた。
- ・女性の立場から地域に存在する課題を取り上げるなど、日常生活の改善と村民の生活の在り方を見直す学習内容を設定していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・何をするか。なかなか簡単なことではない。受講者は満足しているだろうと思った。
- ・女性教室、教育は、学びたい、体験したいという参加者の意欲が伺われる。2・3年前から若い女性の参加もあるようなので、幅広い年代の教室になれば、と望む。
- ・学ぶ意欲を向上させ、参加者同士の交流の場であると共に、地域（村）の良さを見直す機会となっていると思われる。特に「国体おもてなし活動」の取組は、国体への意識、地域活動への参加の意識向上につながったと思われる。「教室だより」の発行は、参加者は勿論のこと、参加できなかった者にも次回への参加への意欲を掻き立てるものである。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(2) 社会教育行政の主要施策

⑩ 各時期における社会教育活動の充実 女性教育 婦人団体

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

女性の立場から現実の生活を改めて直視し、地域の問題を考え活力と笑顔あふれる村づくり実現のために、村内の女性団体が一堂に集まり学習し交流を深める。

■実施状況

1 参加団体

九戸村婦人団体連絡会

(JA 新いわて九戸地域女性部、九戸村生活改善グループ連絡研究会、九戸村商工会女性部、九戸村交通安全母の会連合会、九戸村地域婦人団体協議会)

2 実施内容

(1) 講演会 女性から目指す 安全安心なむらづくりのために

講師 岩手県二戸警察署九戸駐在所 所長 大久保 好幸 氏

「交通事故に会わない・玄関に鍵をかける・詐欺に会わないために」という三点から安全安心なくらしについて学ぶ講話となり、参加者からも満足度の高い講演会となった。

(2) ステージ発表等

岩手県警察音楽隊による演奏、安全安心なくらしを題材とした寸劇 等

(3) 手作り交換市

会員が手作りの品を持ち寄り、交換市を通じて親睦を深める。

■成果と課題

・地域・家庭の問題を女性の立場から考え、明るく住みよい村づくりにつながる交流会となった。今後も、継続した会としたい。各団体の組織強化が課題である。

【学識経験者の意見等】

- ・各種団体の交流の場を持つことに意義があると思う。お互いに自分のことで精いっぱい。
- ・それぞれの団体が一堂に会しての学ぶ会、他団体との交流が図られ大変良い。
- ・各団体の取り組み強化が課題とされるが、活動を展開する中で、見直ししたり、魅力ある活動のあり方を検討しながら、今後ともこの交流の場は続けてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

① 各時期における社会教育活動の充実 高齢者教育 生涯学習アカデミー

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■ 事業の概要

高齢者の持つ知識・経験等の発揮及び積極的な社会参加による活力ある村づくりへの貢献を促進するとともに、心豊かな時間を過ごすための講座等を開催する。

■ 実施状況

1 開設講座等 登録者74名

日 時	講 座 名	内 容	場 所	講 師	人数
4月22日(金) 9:30~	プログラム開発委員会	プログラム検討	開発センター		7
5月17日(火) 14:00~	合同開講式 記念講演会	開講式 14:00~ 記念講演 14:30~ 「健康に楽しく美しく生きるために」	HOZホール	(株)惣兵衛代表 畠山 さゆり 氏 (花巻市)	45
6月 1日(水) 9:30~	移動研修 もっと知ろう 九戸村	「九戸カルタの場所を巡る村 内巡りⅡ」テーマ:九戸の自然	戸井良沢、折爪 岳、江刺家地区	滝谷 博 氏 佐藤 雄三 氏 (折爪岳仙人の食卓)	32
7月19日(火) 10:00~	創作活動1	木工作品にチャレンジ 「焼き板」「飾りコルクボード」	県北青少年の家	県北青少年の家指導員	13
8月 3日(木) ①9:00~②13:30~	創作活動2	①水彩画(風景画) ②リサイクル作品	①オドデ館 ②開発センター	①松沢則雄氏(村内) ②合川憲子氏(二戸)	① 3 ② 13
9月24日(土) 8:45~	世代間交流	九曜塾の子どもたちと交流 「パークゴルフ・押し花しおり づくり・ところてん突き体験」	パークゴルフ 場・ふるさと創 造館	やまびこ押花教室 小笠原マサ子 氏 (村内)	12
10月18日(火) 7:50~	移動研修 秋の遠足	「秋の遠足に出かけよう」	奥入瀬溪流 蔦温泉		33
10月28日 ~10月30日	文化祭作品 出展	「九戸村産業・文化祭り展示部 門」に参加しよう	開発センター		36
11月15日(火) 14:00~	健康教室1	「カラオケでココロもカラダ も元気に」	HOZホール	屋形場正蔵氏 上村 勝己氏(村内)	30
12月16日(金) 14:00~	健康教室2 (合同講座)	「加齢に伴う姿勢保持筋の筋 力低下予防のトレーニング」	HOZホール	岩本紗由美氏 東洋大学 准教授	23
1月24日(火) 14:00~	講演会 (合同講座)	講演 演題「今が最高の喜びの時」	HOZホール	小松遊平氏(二戸市) (株)岩手屋副社長	25
2月21日(火) 10:30~	合同閉講式 卒業パーティ	閉講式 10:30~ 卒業パーティ「1年間の学びを 楽しく振り返ろう」	HOZホール		29
延べ参加人数					301

■成果と課題

- ・ 昨年までの課題であった「世代間交流」を取り入れた事業を開催し、プログラムを見直すことができた。
今後も内容を工夫しながら継続していきたい。
- ・ 暮らしに生かす趣味や健康で明るい生活を送るための講座を開設することにより、生涯学習の認識を深め、学習意欲の向上を図ることができた。
- ・ 楽しみながら学ぶことを基本に、高齢者の交流と学習機会の提供を図ることができた。
- ・ 「教室だより」の発行により、参加者の学びを深めるとともに、会員全体に広げ共有することができた。
- ・ 登録者数、参加者数が増えるような魅力あるプログラムを開発していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・ 生きがいを下さいと言っても生きがいは与えることができない。場の提供をしてそれらから進めたい。
- ・ 高齢者教育だけでなく、世代間交流もあり、大変良い。
- ・ 学ぶ機会を向上させ、参加者同士の交流の場であると共に、地域（村）の良さを見直す機会となっている。世代交流の事業も取り入れたり、プログラムの見直しを図ったことは、意義深い。「教室だより」の発行は、参加者は勿論のこと、参加できなかった者にも次回への参加を掻き立てるものである。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (2) 社会教育行政の主要施策

⑫ 国際交流推進に向けた取り組みの充実 青少年海外派遣事業

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・国際感覚を持った将来を担う人材を育成するため、九戸村人材育成事業補助金を活用し、中高生を短期間アイルランドの都市ダブリンにある「セントジョセフス・セカンダリースクール」に派遣し、相互交流を深め、国際的視野と国際協調の精神を図る。さらには、九戸村国際交流協会と連携し、英会話教室や外国文化触れる機会を作る。

■実施状況

1 青少年海外派遣事業

- (1) 実施日 平成28年10月24日 ～ 11月3日 11日間
- (2) 派遣先 アイルランド セントジョセフス・セカンダリースクール
- (3) 派遣生徒 中学生4名、高校生2名
- (4) 派遣内容 ホストファミリーとの生活、派遣校の授業参加、生徒交流等
- (5) 派遣研修 事前研修、事後研修、結団式、報告会の開催、研究報告書作成

2 異文化体験イベント 国際交流協会主催

平成28年5月17日実施 「ロシア文化を学ぼう」 参加者8名

3 子ども英会話事業 国際交流協会主催

全8回開催 小学生参加者 44名 (延べ131名)

4 基礎英会話事業 国際交流協会主催

全19回開催 一般受講者6名

■成果と課題

- ・セントジョセフス・セカンダリースクールとの交流を通じて派遣生の国際的視野を広め、感覚を養う機会となった。引き続き青少年の国際交流の機会として継続した事業展開を進めたい。
- ・九戸村国際交流事業は、青少年の国際理解教育を充実させると同時に、村民の国際感覚を磨くよい機会となっている。

【学識経験者の意見等】

- ・派遣された生徒は人生が変わるぐらいの経験をするだろう。経験をしたことを伝えてほしい。
- ・国際交流の取組は、違った内容もあってよい。青年海外派遣事業に参加した人の中で、社会人として活躍している方の講演、話を聞く機会があってもよいのでは？
- ・青少年海外派遣事業については、今後とも継続して事業を展開してほしい。貴重な体験をした生徒たちは、村内外において活躍してくれる人材になると思う。子ども英会話教室等についても国際理解教育の充実のためにも継続して事業を展開されたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (3) 文化行政の主要施策

① 文化の振興 鑑賞機会の提供

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・優れた芸術文化にふれ親しむことにより、豊かな情操を培い健全育成に寄与することと岩手芸術祭に出品された優秀な作品を展示し、村民に芸術鑑賞の機会を提供する。また県外で開催される美術展等の優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

■実施状況

1 青少年劇場・岩手芸術祭小・中学校巡回美術展

(1) 青少年劇場

- ・実施日 平成28年6月3日
- ・対象者 村内小学生 244人
- ・内容 みんなで楽しくハーモニー「レスパス弦楽四重奏コンサート」

(2) 岩手芸術祭小・中学校芸術祭美術展

- ・実施日 平成29年2月1日 ～ 2月2日
- ・鑑賞者 24人

(3) 芸術プラットホーム事業

	期日	内容	場所	参加者
1	10/15	郷土芸能鑑賞会「岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会」鑑賞	矢巾町文化会館 田園ホール	高校生・一般 17人

■成果と課題

- ・芸術鑑賞の機会は、子どもたちの芸術文化への興味関心を高めるとともに、鑑賞能力の向上と感性を磨くよい機会となっている。継続した事業としたい。
- ・岩手芸術祭小・中学校美術展は、岩手芸術祭に出品された優れた作品鑑賞の好い機会だが平日開催もあり鑑賞者増につながる工夫をしていきたい。
- ・プラットホーム事業は、村民の芸術鑑賞の機会を拡大し、盛岡周辺でしか開催されない事業等を捉え機会の提供を行い、芸術文化への関心をたかめ、更なる村民の心豊かな生活に繋げていけるよう、今後も継続し、魅力ある事業になるよう工夫していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・芸術鑑賞の機会を提供していることに敬意を表します。そう簡単に鑑賞できない。
- ・生の芸術文化に触れることが少ない子ども達及び村民にとってとても良い事業である。特にプラットホーム事業は、芸術鑑賞の機会であると共に、参加者同士の交流の場となっており、継続して事業を展開してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (3) 文化行政の主要施策
② 文化の振興 発表機会の拡充

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

・伝統芸能を広く公開し、相互の交流を深めるとともに、技術の向上及び伝統芸能伝承活動の活性化を図る。また、本村の無形文化財指定「江刺家神楽」を伝承する県内外の神楽団体による発表・鑑賞機会を提供し、文化財愛護思想の高揚を図る。また、なかなか触れる機会のない音楽・芸能を提供して豊かな心を育成する。

■実施状況

1 九戸の山伏神楽祭典

(1) 期日・場所等 平成28年12月4日(日) 九戸村公民館 観客260人

(2) 発表団体

	出演団体名	演 目	市町村
1	九戸中学校三学年	注連切舞、舞下り、三宝荒神、切り舞	九戸村
2	山内神楽保存会	盆舞、注連切り舞	軽米町
3	武内神社神楽保存会	盆舞	二戸市
4	伊保内高校郷土芸能委員会	注連切舞、舞下り、つるぎ舞、三宝荒神、盆舞、切り舞	九戸村
5	南部切田神楽会	権現舞	十和田市
6	鵜鳥神楽保存会	清祓	普代村
7	宮城教育大学郷土芸能研究会びっきい	大森御神楽、荒くずし	宮城県
8	瀬月内神楽保存会	盆舞	九戸村
9	九戸神楽保存会	三宝荒神	九戸村
10	江刺家神楽保存会	権現舞	九戸村

2 第43回 二戸地区郷土芸能発表会

(1) 期日・場所等 平成28年11月20日(日) 軽米町農村環境改善センター
観客250人

(2) 発表団体

	出演団体名	演 目	市町村
1	太神楽保存会	太神楽	軽米町
2	高屋敷神楽保存会	鐘巻御寺	一戸町
3	九戸神楽保存会	権現舞	九戸村
4	駒ヶ嶺新山神楽保存会	音勝荒神	二戸市
5	沢田神楽保存会	権現舞、鶏舞	軽米町
6	山内神楽保存会	剣舞、鶏舞	軽米町
7	鵜鳥神楽保存会 特別招待	山の神	普代村

3 産業・芸術文化まつり

(1) 期日・場所等 平成28年10月28日から10月30日 展示部門 HOZ ホール
平成28年11月3日 発表部門 HOZ ホール

①展示部門

盆栽、菊花、写真、絵画、書道、手芸、工芸、陶芸、茶道、生花、村教研、俳句、学警連、押花、公民館学級、保育施設等 750人(3日間)

②発表部門

郷土芸能、舞踊、民謡、詩吟、合唱 310人

■成果と課題

- ・芸術文化活動の成果を発表する場と鑑賞・体験の機会を提供した。村民の芸術文化に対する関心を高めるよい機会となった。
- ・村内各種団体からの展示は、団体ごとに営々と継承されたものであり、村の文化・歴史を物語るものであった。今後とも、定期的開催し、鑑賞の機会の保障と継続を図っていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・神楽、芸能、展示、発表等々、その企画実施の苦勞に敬意。
- ・神楽祭典は、中学生の参加もあってよい。産業・芸術文化まつりの展示部門で物づくりの参加者が年々少なくなっているように思う。何か対策を！
- ・伝統芸能の伝承活動として、また、村民の文化活動の発表の場として、今後とも継続して鑑賞の機会を設けてほしい。文化財の保護(保存)については、CD化、冊子化の検討も必要ではないか。現在活動を休止している団体等の存続、あるいは、記録の保存が気になる。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】	(3) 文化行政の主要施策 ③ 文化財保護の充実 黒山の昔穴遺跡の保存・保護・活用
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】	<p>■事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none">・黒山の昔穴遺跡の保存、保護及び活用に向けた調査活動を国庫補助事業で実施する。また、保存・保護活動の一環として、江刺家小学校の協力のもと、カタクリの植栽「私達の黒山の昔穴 花いっぱい運動」を実施する。 <p>■実施状況</p> <p>1 黒山の昔穴遺跡調査活動</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 調査主体 九戸村教育委員会(2) 調査指導 黒山の昔穴調査指導委員会の指導を受けて調査を実施 (指導委員：高田和徳、菊池強一、鈴木恵治、屋形場正藏)(3) 現地調査 調査体制の充実を図り、現地調査を実施 (桐生正一、中村裕、田頭和哉、日向和彦) <p>2 私達の黒山の昔穴 花いっぱい運動 (第10回)</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 期日・場所等 平成28年7月20日(水)(2) 参加人数 江刺家小学校児童・教職員・保護者・九戸村文化財調査委員等 36人(3) 内容 カタクリの種の植種 <p>■成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none">・遺跡調査については、昨年度までに発見されてきた窪地の再確認を実施。その発見されてきた900を越える竪穴状遺構の可能性のある窪地の精査を進めてきた結果、黒山の昔穴遺跡に確認されている竪穴住居跡と形状が同じ遺構が県指定範囲外から4地区にて確認された。それ以外の多くは、自然地形や炭窯など、黒山の昔穴遺跡の竪穴住居跡とは形状が異なるものであると考えられる。・今後も、専門家及び黒山の昔穴調査指導委員会の指導を頂きながら、国庫補助事業により、平成28年度に確認されている4箇所について、発掘調査の実施も含めた調査の拡大を行う。・江刺家小学校で実施しているカタクリ種の植栽のほか、黒山の昔穴遺跡を活用した社会教育事業の展開や、遺跡の周知活動を検討していきたい。
【学識経験者の意見等】	<ul style="list-style-type: none">・専門家から認められている遺跡である。継続して保存、保護、活用を続けたい。・村民にもっと知らしめることと、村民が参加する機会も増やしたほうがよいと思う。・花いっぱい運動も含めて、地域(村民)にPRしながら、調査活動を進め、指定を目指してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(4) 公民館運営の主要施策

① 生涯学習の推進 公民館の利用促進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・地域の活動の拠点となる公民館の効率的な管理運営を図りながら、村民の学習要求に応じた事業を企画し、生涯の各時期における学習機会を提供する事業を展開する。

■実施状況

1 推進体制の整備

社会教育委員会議 年2回 実施

2 公民館(HOZホール)・開発センターの管理運営

年間利用回数	施設利用者数
公民館 478回	21,385人
開発セ 666回	15,214人

3 公民館活動 学級・講座の開設

講座名	開設時期	開催回数	場所	参加人数
書道教室	5月～2月	8	開発センター	のべ 61人
料理教室(女性)	6月～2月	8	開発センター	のべ 73人
着付け教室	5月～12月	8	開発センター	のべ 33人
パッチワーク教室	5月～1月	6	開発センター	のべ 29人
ボールルームダンス教室	6月～12月	10	開発センター	のべ 26人
整理収納教室	11月～1月	5	開発センター	のべ 33人
ステンドグラス教室	7月～10月	3	開発センター	のべ 17人
陶芸教室(昼・夜)	6月～10月	12	開発センター	のべ 50人
舞踊教室	1月～2月	4	HOZホール	のべ 59人
手作り伝承塾	2月	3	開発センター	のべ 49人
村民自主学习会支援		2	村内	のべ 17人

■成果と課題

- ・各講座とも村民のニーズに応じた内容とするよう柔軟な運営に努めた。また、開催講座は、人数の過多にかかわらず開催し、村民個々の学習の必要性に応じて開催した。
- ・公民館利用者には、職員体制が十分整わず、快適な利用とならず不便をかけたこともあった。
- ・利用者の立場を意識した公民館運営に更に努めていきたい。
- ・手づくり伝承塾については、わら細工等についても検討したい。

【学識経験者の意見等】

- ・各種の講座があり、好きだから、やってみたいから参加している。講師の先生に敬意を表します。
- ・施設利用が有効活用、利用されており良い。
- ・学習意欲を向上させ、参加者同士の交流の場にもなっている。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(4) 公民館運営の主要施策

② コミュニティ活動の推進 地域公民館活動の支援

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・地域の連携や相互扶助の意識を高めて住みよい豊かな村づくりを進めるため、村民憲章の実践活動を推進した。

■実施状況

1 村民憲章実践活動

(1) 主な事業活動

事業名	事業の概要	期日・場所	参加対象等
コミュニティリーダー研修会	村民憲章運動の組織及び活動のあり方についての研修会を開催した。	6月7日 秋田県鹿角市(パンジーの会)	リーダー 20人
村づくり推進の集い	村民憲章実践区代表が一堂に会し講演、事例発表を通じて交流した。 ・事例発表 「宇堂口実践区」 ・講演 「3ちゃん・矢次工房と歌人生」 ・講師 民謡歌手 漆原栄美子氏	2月5日 HOZホール	実践区 222人
花いっぱいコンクール	参加申込みにより現地審査を行い、村づくり推進の集いで表彰した。 ・最優秀賞 宇堂口実践区 ・優秀賞 戸田館ノ下実践区・戸田元村上実践区 ・優良賞 丸木橋実践区・細屋実践区・山根実践区	年間	参加団体 12団体
九戸村民憲章推進実践協議会先進地視察研修会	豊かで住み良い地域社会の形成に向け、花とまちおこし運動の先進地を視察した。	10月21日 金ヶ崎町細野部落振興会	23人

(2) 実践活動等への助成

補助対象団体	団体数	金額	備考
九戸村民憲章推進実践協議会	1	465,000円	
各実践区(集落環境整備事業)	10	456,057円	
各自治会(住みたくなる地域づくり)	32	9,177,400円	

■成果と課題

- ・ 村民憲章関係事業では、希望郷いわて国体を意識した花いっぱい運動を展開。各実践区には花苗代等 3 万円を限度に九戸村民憲章推進実践協議会を通して助成。他の事業は関係団体や参加者の協力により所期の目的を果たすことができた。希望郷いわて国体の開催年ということで花いっぱい運動で他県からの来村者をお迎えすることが出来た。
- ・ 村民憲章実践協議会等、各団体の実践課題や実践上の施設設備の充実など、個性・独自ある活動ができるよう助成した。

【学識経験者の意見等】

- ・ 国体を意識した花いっぱい運動は、みんなの努力が実った。
- ・ いわて国体開催年とあって花いっぱい、他県、他市町村からの来村者を迎えられた。
- ・ 希望郷いわて国体の開催年ということで、花いっぱい運動、花いっぱいコンクールの参加団体が増えたことは良かった。今後ともこれを契機に継続してほしいものである。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(4) 公民館運営の主要施策

③ 読書運動の推進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・教養の向上と豊かな情操を培うため、読書活動を一層推進するための各種活動を展開するとともに、基盤となる蔵書の充実を図りながら利用者の利便性の向上に努める。また、各種行事の中に読み聞かせを取り入れるなど、村民が読書にかかわる機会を創出することにより、読書活動に自主的に取り組む環境づくりを進める。

■実施状況

1 読書環境・蔵書冊数等

区分	蔵書数	人口	一人当たり冊数	備考
公民館図書室	36,224冊	6,014人	6.02冊	

2 読書活動

事業名	事業の概要	期日・場所	参加対象等
読書感想文コンクール	読書感想文を村民から募集し、優良作品を表彰するとともに文集を発行した。 ・村長賞 伊保内小1年 松田侑士 ・教育長賞 伊保内高校3年 下澤 奈々花	募集期間 9月15日 ～11月28日	応募数 46点
読み聞かせと映画の集い	子どもを対象とした内容の映画会と読み聞かせなどを行い、村民が図書室を訪れる機会とした。	① 4月23日 ② 10月29日 ③ 2月12日 九戸村公民館	親子等26人 親子等15人 親子等13人
みんなで読書わくわく大作戦	講演会読み聞かせ研修会などを行い、読書を機軸としたコミュニティの形成により地域の活性化を図った。 ・講演「音読のホント！」～その先にある本当に身につけたい力とは～ ・講師 KOTOSE 音読教室主宰 佐藤くみこ氏	2月12日	①講演 42人 ②研修会 42人 ③映画会 13人 ④押花作 10人 ⑤託児 なし
村民読書の日の実施	村民が読書に取り組む日を創出することで読書活動への関心と理解を深めるとともに、子どもたちが自主的に読書に取り組む環境づくりを進めた。	2月7日	「岩手の読書週間」中に期日を設定して実施した。

ブックスタート事業	乳児検診時に4カ月児とその保護者に「絵本」と「絵本に楽しむ体験」をプレゼントし、絵本の持つ魅力と望ましい子育てをつなげる機会とした。	①4月20日 ②5月18日 ③6月15日 ④7月 ⑤8月24日 ⑥9月21日 ⑦10月19日 ⑧11月16日 ⑨12月21日 ⑩1月 ⑪2月15日 ⑫3月15日 計	4人 6人 2人 0人 3人 3人 4人 2人 2人 0人 5人 4人 35人
-----------	--	--	---

■成果と課題

- ・読書ボランティア「やまびこ」の協力のもと偶数月1回、読み聞かせと映画会を組み合わせた読書に親しむ機会を設け、少人数の参加であったが言葉・映像をとおして、豊かな感性を磨くことができた。
- ・「村民読書の日」を設定し、村民の読書に親しむ醸成づくりに努めた。今後は、「村民読書の日」が根付くよう図書・読書環境を整えていきたい。
- ・平成27年度からはじめたブックスタート事業を実施した。4カ月児と親御さんが輝いた目で絵本を見る姿は、すばらしいと思った。絵本に親しむ事業であり今後とも継続したい事業である。

【学識経験者の意見等】

- ・地道な実践で評価する。参加者の数は気にしない。感想文を読み（広報誌の）心を打たれた。
- ・ブックスタート事業の中で、7月と1月はゼロ人・・・。
- ・伊保内高校の地域読書会活動を誇りに「読書の村」を進めてほしい。読書感想文コンクールの入賞者の作品内容は、大変すばらしい。子どもたちの感性の良さを感じる。ブックスタート事業はとても良いことであり、継続して実施してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (4) 公民館運営の主要施策
④ 結婚相談所の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

- ・結婚相談所に配置した専任の相談員により、出会いの場の提供や結婚相談事業を積極的に推進し、結婚についての支援を強化する。

■実施状況

1 出会いの場の提供

() 村内在住者

イベント	期日	場所	参加者	マッチング数
いちご狩り & BBQ	28.5.22	八幡平市 サラダファーム	男 8人(3) 女 7人(4)	2組
バレンタインパーティー	29.2.12	二戸市 パークホテル	男 8人(4) 女 5人(1)	3組

2 平成28年度相談・紹介状況

- ・8件(うち4件 見合い)
- ・成婚1組→平成29年3月入籍(平成27年12月イベントでのマッチング者)

3 結婚相談所利用促進

- ・「結婚相談所」のお知らせ 九戸村HPと九戸村広報「お知らせ版」に掲載
- ・結婚相談支援員(サポーター) ①和田敏氏・屋形場正蔵氏・上山昭一氏に依頼
②サポーター会議28.12.9に開催

4 「いきいき岩手結婚サポートセンター」の活用

- ・「サポートセンター」のお知らせ 28年6月に全戸配布
- ・出張相談「おでかけiサポ」のお知らせ 28年6月に全戸配布
- ・相談者へのお知らせ 会員登録への勧誘(28年度末で村内男性4人登録あり)
- ・イベントでのお知らせ 参加者へのリーフレット配布

■成果と課題

- ・出会いの場を提供し、県内外から多くの参加をいただいた。そのうち、5組のマッチングがあった。平成28年度に1組成婚になり21年度から累計6組となった。
 - ・生活スタイル、仕事の環境の変化に伴い結婚に向けた出会いの場が少なくなっている。未婚者の情報をもとに、相談者には継続的にかかわっているが、相互の条件を整えるまでには、時間がかかる。今後とも3名の結婚相談支援員から伊保内・戸田・江刺家の各地区からの情報収集を密にするとともに相談活動を充実させたい。
- また、「いきいき岩手結婚サポートセンター」を今後ともお知らせするとともに、会員登録を勧めていきたい。

【学識経験者の意見等】

- 結婚をみんなしたいと思っている。この年になってもと思うような人でも、みんな望んでいる。1組でも大仕事。
- 1組の成婚があってよかった。
- 相談所事業の成果が出ていることは喜ばしいことである。村内各事業所、各種団体等とも連携して出会いの場及びともに活動する場を提供して、相談所事業の活動を展開してほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策
① 推進体制の充実

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

すべての村民が生涯にわたり、明るく豊かな人生を送るために「村民1人一つのスポーツを」をスローガンに掲げ、日常のスポーツ活動を推奨し、スポーツの生活化を図るとともに学校、体育団体、地域との連携を深めながらスポーツ・レクリエーションの普及振興に努めた。

■実施状況

1 指導者の養成

九戸村スポーツ推進委員を中心に地区の指導者等を各種スポーツの実技研修会へ派遣し、指導者の養成を図った。また、単位協会を中心にスポーツ教室を開催し、スポーツの普及と指導者の資質向上に努めた。

- (1) 九戸村スポーツ推進委員報酬 15人 360,000円
- (2) 東北地区スポーツ推進委員研修会 3人参加(青森県弘前市)
- (3) 岩手県スポーツ推進委員協議会市町村代表幹事会 1人(盛岡市)

2 実践団体の強化・育成

九戸村体育協会、地区体育振興会、スポーツ少年団等の活動に対し指導、支援を行った。

	補助団体名等	補助金
1	九戸村体育協会活動補助金	621,000円
2	県民体育大会選手派遣補助金(9団体 131人)	320,000円
3	スポーツ大会開催補助金	166,000円
4	スポーツ少年団活動補助金(11団体)	275,000円
5	地区スポーツ振興業務委託料(6地区)	720,000円
6	村民体育大会開催業務委託料(野球、卓球、バレーボール、ゲートボール、駅伝、綱引き)	266,000円
7	スポーツ・レクリエーション大会開催委託	120,000円
8	学校体育施設開放業務委託	562,000円

■成果と課題

- ・スポーツ推進委員が、村内各種大会の運営に関わり、円滑な大会運営に大きく貢献している。引き続き、研修等を積みスポーツ推進委員としての資質を高めていきたい。
- ・各団体とも、補助金を有効に活用し、歴史と伝統ある大会の開催や独自の活動を推進した。構成人数等、各団体で抱える個々の課題に対応・支援していきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・とてもよくやっている。スムーズに実施されていることは、努力しているから。
- ・スポーツ推進員や各地区の体育振興会の方々により、各種大会が運営されたり、地区のスポーツ振興が図られていることに敬意を表する。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策
② 実践活動の促進

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

体育団体への委託開催を含め各種体育大会を主催し、体力づくりとスポーツ・レクリエーションの普及に努めた。

■実施状況

1 主な各種大会

	大会名	期日	参加人数
1	スポーツ・レクリエーション大会 (5種目)	28. 9. 1	221人
2	家庭婦人バレーボール大会	28. 10. 9	106人
3	村民体育大会(6種目)	28. 7. 3 28. 9. 18 28. 10. 9 28. 11. 20	478人
4	九戸政実杯ゲートボール親善交流大会	28. 9. 8	150人
5	九戸政実杯グラウンド・ゴルフ親善交流大会	28. 10. 13	215人
6	はまなすカップ総合体育大会(5種目)	28. 4. 30 28. 5. 1 28. 5. 22 28. 6. 12 28. 8. 28 28. 9. 3	春季 534人 秋季 243人
7	九戸村小中学校水泳大会	28. 8. 3	94人
8	九戸村ちびっこ綱引大会	28. 11. 6	128人
9	九戸村ビーチボール大会	28. 12. 6	58人
10	九戸村長杯ゲートボール大会	29. 1. 20	24人
11	九戸村小中学校スキー大会	29. 2. 11	38人
12	九戸村スキー選手権大会	29. 2. 26	51人

2 各種体育教室等の開催

- ・ラジオ体操100日運動の実施 達成者 17人
- ・スポーツ教室 参加者 12/12 児童:15人 保護者:9人
3/6 児童:17人 保護者:11人

■成果と課題

- ・「村民1人一つのスポーツを」のスローガンの具現化のために、各世代が親しむ内容とした各種大会を開催し、多くの村民の参加を得ることができた。
- ・村民体育大会は、歴史・伝統を踏まえ、その時の課題を解決しながら継続している。今後も、村民すべての方がスポーツを通してつながり、体力向上と豊かな生活を送るよう内容を工夫していきたい。
- ・けがや事故を防止するため施設整備や設備点検を再確認し、参加者等へ注意喚起の徹底に努める。

【学識経験者の意見等】

- ・楽しみと各自の健康維持のため大会が役立っている。楽しいから参加する。
- ・各種競技及び大会での参加者は？
- ・今後とも、スポーツを通じて、仲間と交流しながら心身ともに健康で生活できるように、また、気軽に参加できるような場を設けてほしい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】	(5) 生涯スポーツ行政の主要施策 ③ 施設の整備・活用		
【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】			
■事業の概要	<p>・各種スポーツ教室やミニ大会などの自主事業を企画しながら、体育施設の利用促進に努めるとともに、地域スポーツの拠点として学校体育施設の開放を推進する。また、住民の意向を把握しながら体育施設の整備を促進し、既存の体育施設の改修や用具の充実に努める。</p>		
■実施状況			
1 社会体育施設の利用状況			
	施設名	利用件数	利用人数
1	九戸村体育センター	2,409 件	13,490 人
2	内訳・アリーナ	625 件	11,470 人
3	・トレーニングルーム	1,761 件	1,761 人
4	・ミーティングルーム	23 件	259 人
5	九戸村総合運動場	244 件	12,702 人
6	内訳・野球場	163 件	9,076 人
7	・陸上競技場	73 件	3,546 人
8	・クラブハウス	8 件	80 人
9	B & G 海洋センター	68 日	2,685 人
10	屋内ゲートボール場	80 件	2,400 人
2 社会体育施設の管理運営			
(1)	体育施設運営業務委託	18,216,000 円	
(2)	村営野球場芝生管理業務委託	1,695,600 円	
(3)	消防設備保守点検業務委託	86,400 円	
(4)	海洋センター上屋シート取付収納業務委託	200,000 円	
(5)	海洋センターろ過機点検業務委託	36,720 円	
(6)	野球場電気工作物保安管理業務委託	100,666 円	
(7)	屋内ゲートボール場指定管理料	200,000 円	
(8)	防火対象物点検委託料	43,200 円	
3 社会体育施設備品購入			
	スポーツプリンター・防球ネット・暗幕カーテン購入	1,047,6717 円	
4 社会体育施設整備			
(1)	ナインズ球場グラウンド修繕工事	6,642,000 円	
(2)	ナインズ球場維持修繕工事	4,182,840 円	
(3)	村営くのへスキー場西山荘改修工事	2,106,000 円	
(4)	海洋センターボイラー修繕工事	377,741 円	
(5)	野球場掲揚塔移設工事	265,000 円	

■成果と課題

- ・年間を通じて体育施設の効果的な運用に努めた。また、各施設の安全・保全に万全を期するため、各種業者に委託し定期点検を実施した。
- ・短期・長期の計画を基に、各施設の修繕・修理に努め、安全・安心の施設設備の中で、村民の利用を図るように努めたい。

【学識経験者の意見等】

- ・村民の数から考えて、施設の利用数がよいと思う。
- ・村民の利用が図られている。
- ・村民の体力づくり、健康づくりの拠点となる体育施設であることから、今後とも、安全安心の設備管理を徹底し、利用促進を図っていただきたい。

重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】 (5) 生涯スポーツ行政の主要施策

④ 希望郷いわて国体軟式野球競技の開催

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

■事業の概要

東日本大震災からの復興のシンボルとなる大会を目指すとともに、復興支援への感謝を伝え国体に参加する「感動と喜び」にあふれたスポーツの祭典とすることを基本方針に掲げ、村民の協働、生涯スポーツの推進、活力ある村づくり、おもてなしの心を実施目標とし、軟式野球競技を開催した。

■実施状況

(1) 試合

- ・期日 平成28年10月2日(日)
- ・会場 九戸村営ナインズ球場
- ・内容 1回戦2試合
埼玉県代表 2 対 福岡県代表 0 大阪府代表 0 対 新潟県代表 2

(2) 動員

競技会参加者 (人)

選手・監督	競技会関係者	観覧者	学校応援観戦	視察・報道等	合計
64	273	944	648	31	1,960

競技会関係者 (人)

競技会役員	競技役員	競技補助員	競技会係員	競技会補助員	ボランティア等	合計
13	60	40	95	64	97	369

■成果と課題

- ・節目の日を捉え、様々なカウントダウンイベントにより機運を高めつつ、村民の協働と関係機関団体の連携により、村民総参加の国体を開催するという目標を達成することができた。
- ・花いっぱい運動や美化活動、明るく元気なあいさつの励行など村民憲章の実践による「おもてなしの心」で来訪者を迎えることにより、「小さくても活力と笑顔溢れる九戸村」を全国に発信することができた。
- ・試合当日は、小学校から高校までの全児童・生徒による応援を行い、一流選手のプレーを目の当たりにすることで、スポーツへの興味と将来の目標としての刺激を与えることができた。
- ・46年ぶりの、しかも開催地となったいわて国体を契機に、従来からスローガンとして掲げてきた「村民1人一つのスポーツを」の一層の推進を図りながら、定着化及び日常化に結び付けていきたい。

【学識経験者の意見等】

- ・国体開催と共にやれること、できることを精いっぱい努力した。
- ・いわて国体の競技会場となって良かった。
- ・昨年度からの機運醸成活動、情報発信啓発活動により、村民総参加の国体が開催できたことは大変素晴らしいことである。これを契機に様々な活動が健康づくりや地域づくり等の住民運動にもつながることを期待する。